



# FD&SD 報告書 2021

埼玉純真短期大学 FD&SD 推進委員会

## 学園設立の目的

本学園は時代の要望に即応し、高い知性と豊かな情操とをもって、社会、家庭に歓迎され、敬愛される良識ある女性を訓育する目的として設立されたものである。従って、次の学園訓を掲げる。

# 学園訓

## 気品

人を魅了し、良き師、良き友を得て、  
お互いを高め合い、他者をして犯すべからざる  
精神性の高さで行動すること

## 知性

広い視野に立ち、枝葉末節に拘泥することなく、  
物事の本質を見定め、考え、判断し、  
節度を持った行動をすること

## 奉仕

多くの人に支えられていることに感謝し、  
利害得失を捨てたときに、心の底から生まれる  
志に準じて行動すること

## はじめに

近年、18歳人口の減少により、大学等を取り巻く環境は厳しいものとなっております。そのような状況下でも、急速に進む社会変化に伴う生涯教育の重要性が認識され、周囲の人々から大学はじめ高等教育機関に求められる「学びの場」としての期待はいっそう大きいものとなっております。さらに、このコロナ禍が終息をみせない中において、学生に対する指導方法や授業実施方法などの点からも、大学や短期大学としての在り方を今一度、検証しなければならないことへの重要性が浮き彫りとなりました。

この様々な面での変化を求められる状況で、本学は「気品・知性・奉仕」の建学の精神に則った三つのポリシーを基本とした大学運営や教授・研究を改善・向上させ、学生の学修成果を確実なものとすることを目指して取り組んでおります。さらに、今後はこれまで以上に急速に進む時代の変化を先取りしていかなければ、本学の存在自体が危うくなるも考えております。そのために個人的レベルではもとより組織的なレベルで取り組んでいるこの「FD&SD推進活動」を継続的に実施することが非常に重要であると考えております。

本学が大学としての存在意義をはっきりと認識し、打ち出し、その使命を果たすためには、大学運営においてももとより全てにおいて変化を恐れず乗り越えていく思考と行動を抜きにして考えることはできません。そのためにも教職員全員がそれぞれの職務において大学運営に必要な知識や技術を身につけ、それぞれの業務において質的向上を目指すことが重要です。ここで「FD&SD推進活動」はいっそう重要なものと位置付けられます。本学では「FD&SD推進活動」を全学的に推進するために「FD&SD推進委員会」を設け、年間を通して教職員の発表や外部講師をお招きするなどの取り組みをおこなっております。

本報告書は2021年度の授業や業務への取り組み状況を1冊にまとめ、年度の業務状況を振り返るとともに外部評価委員会の委員の皆さまをはじめ多くの方々からご意見やご指摘、アドバイスなどを頂戴し、より良い本学とするために作成しております。

すべての物事には「出発点」があり「到達点」があります。人や組織は時間や環境などの制約の中で、目指す到達点に向けてさまざまな選択を重ねます。この時、最も重要なことは、歩んできた過去を振り返り客観的に点検・評価したことをこの選択過程に反映することだと考えます。その点検・評価基準に妥当性があり、時代や状況に適したものであればあるほど、到達への過程はより正確で確実なものとなります。

本学の現在があるのも学生が激減していた折に教職員全員が真剣にこれまでを振り返り、今を見つめ、これからを展望しながら「FD&SD推進活動」に取り組んだ結果であると考えています。そのひとつが入学者減少（定員割れ）の状態を18歳人口減少に原因があるとするだけでは、決して発展的な解決にはならないと認識し、時代の後押しで勝ち得た過去から早々に脱却できたことです。このことにより本学の使命である保育者養成機関としての専門的知識と技術を通して、地域に貢献できる人材養成に意識的そして積極的に取り組んだ証が、現在の埼玉純真短期大学であると確信しています。

すべての教職員が「学生にとって」「学生のために」を第一義と考えて、教育と研究、そして大学運営に取り組み、本学園創設者福田昌子博士の「学園訓」や「三つのポリシー」に基づき、地域に貢献できる、地域に愛される大学として、教育・研究に取り組んで参ります。

この「FD&SD推進活動報告書」は本学の教職員でまとめたものです。これからも緊張感と使命感を強く保ちながら、いっそうの教育の充実と質向上を図るためにも「FD&SD推進活動」を継続しなければならないと考えています。

2022年10月 埼玉純真短期大学 学長 藤田利久

# FD&SD報告書 2021 目次

SD 委員会や行事に関する発表	… 1
SD 職員取り組み 3分スピーチ	…18
FD ルーブリックに関する発表	…32



## SD 委員会や行事に関する発表

## 目次

奥貫 慶一郎	「避難訓練について」	・・・ 3
入試広報委員会	「オープンキャンパスと広報活動」	・・・ 7
図書館運営委員会	「図書館利用に関するアンケートの結果分析と次年度への課題」	・・・ 8
I R委員会	「欠課状況の変化からみる」	・・・ 12

避難訓練について

## 1. アンケートの概要

目的：現2年生の1年生の時と比較してどれくらい意識が高まったかをみる

主な項目：①学内一斉放送が聞こえたか

②ハンカチやタオルを持っていたか

③今の自分が自信を持って子どもたちを誘導できるか

④非常放送が聞こえたらまず何をすべきか

実施日（実施期間）：令和3年10月8日（金）午後1時40分～午後2時50分

回収率：64%

## 2. 結果を踏まえた 現状

職員による通報訓練、学生の避難訓練と水消火器による消火体験、煙体験を行いました。消防署からの講評では、通報訓練は問題なく、今後もしっかりと行っていただきたいとのことでした。避難訓練は集合までに6分近くかかったため可能な限り5分以内で行うこと、もし煙が充満した場合、早く避難できればできるほど人命生存が高くなることが学生に向けて話されました。その後の煙体験でハンカチ類を持たず体験する人が多かったので、ここを次年度は徹底して注意喚起したいと考えます。

## 3. 課題

・2年生の1年次と2年次を比較しました。半数以上がどちらの年もタオルやハンカチ等を常備していなかった。実際の火災では、一酸化炭素を吸い込むと中毒になる率が高いと言われます。一酸化炭素中毒は四肢の自由を奪い意識を混濁させるため非常に危険です。そのため毎年煙体験を行い意識向上を図りたいと考えます。

・避難経路や避難指示などのマーク等知らないようだったので、標示や消火器位置を見やすい形で掲示していこうと考えます。

## 4. 今後の展望（改善に向けて）

- ・地震体験をさせ非常時に備えたいと考えているので、次年度も4月に県に申請します。
- ・水消火器ではなく本物の消火器を使用し、消火を体験させたい考えです。
- ・防災に役立つ情報発信を行っていきます。

以上

## FD & SD研修会

### 避難訓練について

奥貫

1

### 1. 避難訓練の目的

命を守る行動をすること

実際に災害が発生したとき、安全に避難できるようにすること

実際に災害が発生したとき、避難方法に慣れておくこと

1

2

### 2. 避難訓練のねらい

保育者として冷静な判断ができること

いかなる状況下でも保育者として適切な判断をし、子どもたちが保育者の指示をしっかりと聞き、安全に避難できるようにさせること

避難時の問題点が把握でき、改善策を練ること

2

3

### 3. 避難訓練を実施して…Q1～Q4

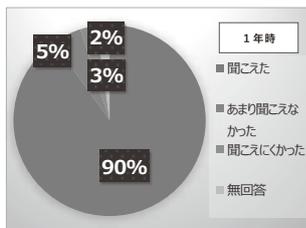
P4.6.8.10…現2年生の1年時回答

P5.7.9.11…現2年生の2年時回答

3

4

#### 1. 学内一斉放送が聞こえたか

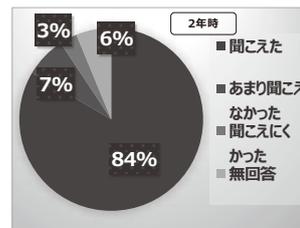


質問項目の回答	1年時回答
聞こえた	128
あまり聞こえなかった	7
聞こえにくかった	4
無回答	3
合計	142

4

5

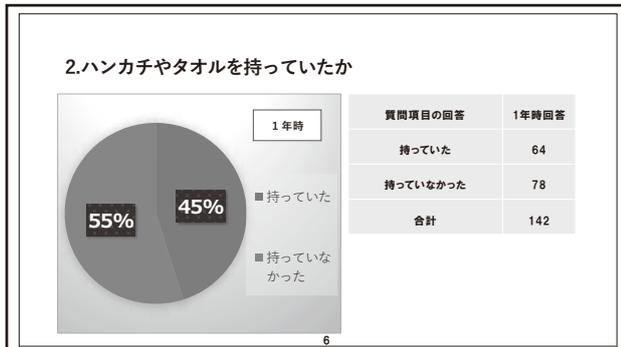
#### 1. 学内一斉放送が聞こえたか



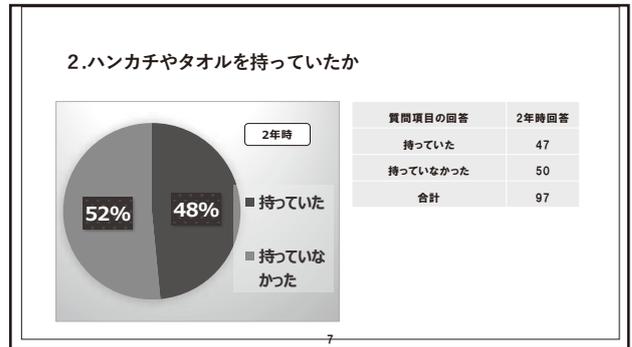
質問項目の回答	2年時回答
聞こえた	81
あまり聞こえなかった	7
聞こえにくかった	4
無回答	6
合計	98

5

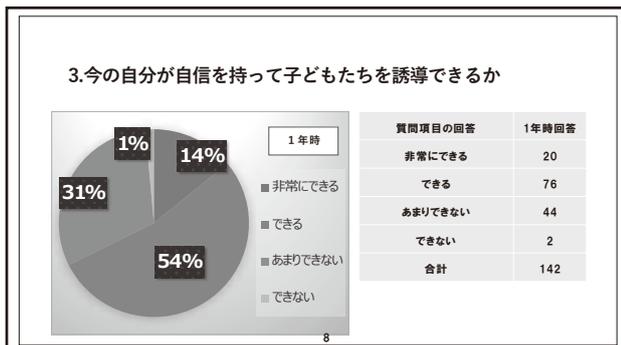
6



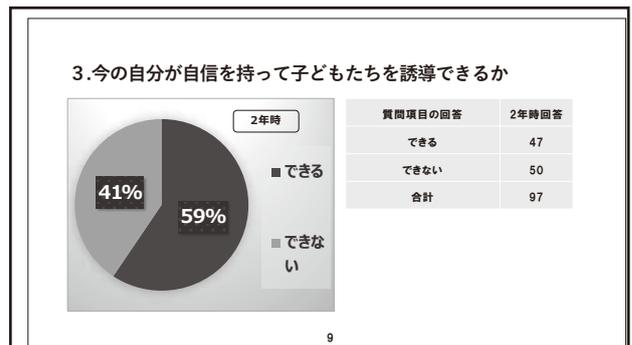
7



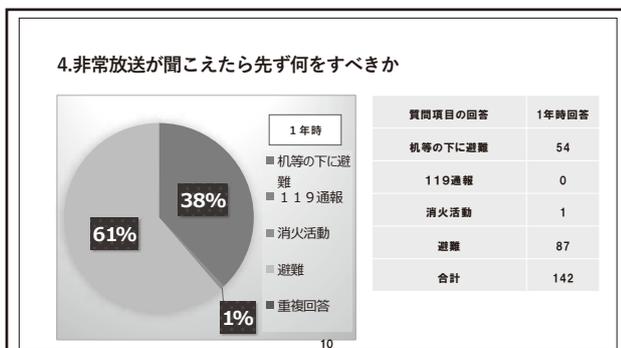
8



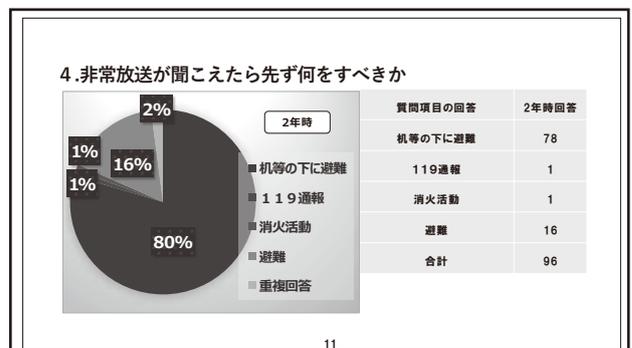
9



10



11



12

#### 4. 比較

現2年生の1年時と2年時を比較したところ

“ハンカチやタオル等を持たない学生が多く、非常時の煙に対する認識が薄い”ことがわかりました。



命を守る行動をすぐにとれるだろうか

12

13

#### 5. 今後の課題への対応

火災時の煙に巻かれた場合、煙を吸い込まない行動が取れないことが想定される。

(一酸化炭素中毒は、吐き気やめまい、不快感の初期症状から、意識があっても身体が奪われたり、昏睡状態になる危険を持つ)



一酸化中毒の危険性の明示や、防災に役立つ情報を発信し、もしもに備えていきたい

13

14

#### 6. まとめ

災害は突然やってきます。  
その時、冷静にどのように対応できるかが大事です。  
学生は保育者となり、将来子どもたちを守る立場になります。  
いかなる状況下でも保育者として適切な判断をし、子どもたちが安全に避難できるようにさせることが重要です。

次年度の避難訓練では、煙・消火体験をさせて注意喚起を行いたい考えです。また、啓発のため、避難経路等再明記を行い、突然の災害に備えていきたいと考えています。

14

15

## 1. 目的

オープンキャンパスの動員数と出願率の関係、そしてアンケート結果を分析し、入学者数を増やすために重要なことを共有したい。

また、広報活動の予算の組み方についても共有したいと考えた。

## 2. 周知したい内容について

オープンキャンパス参加の3年生の中でも、2年次にも参加している高校生は各段に出願率が高いことが判明した。したがって、1・2年生のうちからオープンキャンパスに参加してもらうことが重要だと考える。

また、Webや紙媒体、駅看板や道路看板などの広告掲出について露出度をアンケートから分析した結果、紙媒体は減らす方向にし、Web媒体はオープンキャンパス動員増を見込める企画にも新しく参画するなどし、予算増とした。

## 3. 課題

オープンキャンパスの動員数をいかに増やすかが毎年の課題である。

## 4. 今後の展望(改善に向けて)

教職員全員が大学のアピールポイントを明確に理解することが重要であり、そのためには広報活動で得た情報は常に共有していきたい。

予算についても、引き続き費用対効果を見極め効率的に組んでいきたい。

(内部資料のデータが多く、その箇所やグラフにつきましては、  
本紙面に掲載することを控えました)

## 1. アンケートの概要

目的：図書館に求められているものは何か、どのように利用されているのか、図書館が提供しているサービスは活用されているか等を調査し、今後の図書館サービスの向上を図る。

主な項目：図書館の利用頻度について 利用されている資料、求められている資料の調査

実施期間：令和3年12月3日～12月10日

回収率：91%

## 2. アンケート結果を踏まえた現状把握

図書館を全く利用しないと回答した学生が1年生30名、21%、2年生20名、15%にのぼった。質問項目では、「授業での利用を含める」としていたにもかかわらず、この50名は、「自分は図書館を利用していない」と認識しているということになる。「全く利用しない」と答えた人に対する質問「Q3 図書館を利用しない理由」は、「本を読む習慣がない」36名(全体の13%)「読みたい本がない」18人(全体の7%)だった。また、「Q6 よく利用する資料」、「Q8 充実させてほしい資料」の上位は絵本、紙芝居、保育実用書だったが、専門書を利用する学生や、充実させてほしい資料として専門書を選択する学生は非常に少なかった。これは昨年とほぼ同じ結果だったにもかかわらず、貸出統計を見ると、社会学・福祉学・教育学分野の資料の貸出数が、前年度690冊であったのに対して、今年度は217冊と3分の1以下となった。専門書の貸出数減少の要因としては、昨年まで、1年生の入門ゼミで、専門書を最低1冊読み、レポートするという課題があったが、今年度のレポート課題は、専門書は必読ではなかったことが挙げられる。

## 3. 課題

専門書を読むということは学生にとってハードルが高く、課題等で読まなければならないという環境が大学で学ぶあいだに、繰り返し設定されてこそ、読み慣れていくという過程があるだろう。1年生のうちに一度図書館で専門書に触れて、読むという機会は大変貴重であると考えている。授業や課題で、専門書を学生が活用する機会を設けていただけよう、分野ごとにブックリストを作成する等、教員がより授業で利用しやすいように、情報提供をしていきたい。また、読書マラソン等、図書館を全く利用しない学生を図書館に呼び込むアイデアを実践し、結果を踏まえた改善を重ねていきたい。

## 4. 今後の展望(改善に向けた次年度の取り組み)

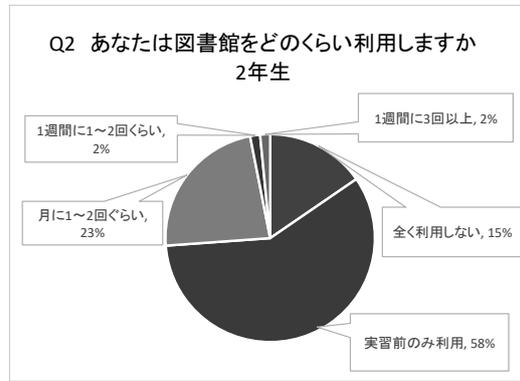
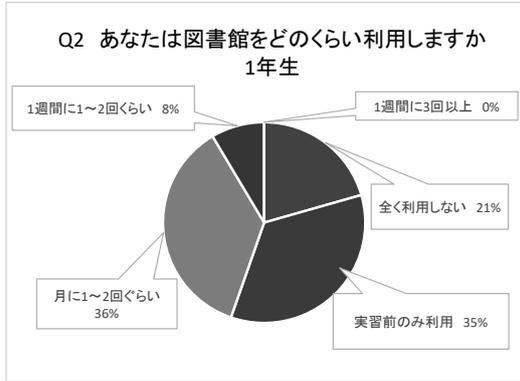
1. 「図書館を全く利用しない」学生を減らす
2. 専門書を学生へ届ける

図書館にどのような本があるか、学生・教職員に対し、それぞれ必要とする情報を発信し、コミュニケーションを取りながら、より多くの人に「役立つ図書館」として認識をもってもらうことを目指す。

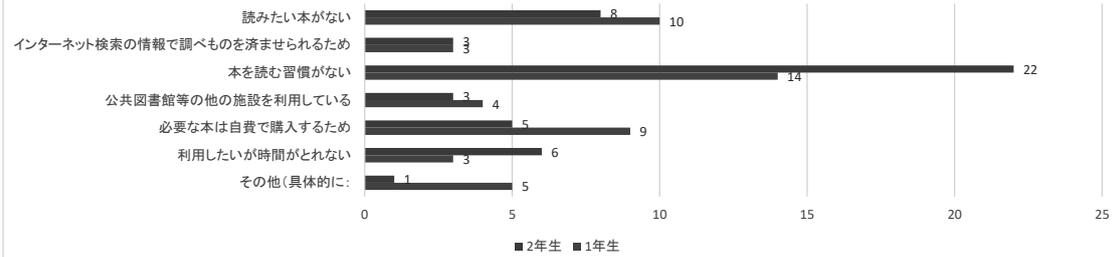
令和3年度図書館利用に関するアンケート（学生） 令和3年12月3日～12月10日実施  
 埼玉純真短期大学図書館

Q1 あなたは次のいずれに該当しますか。

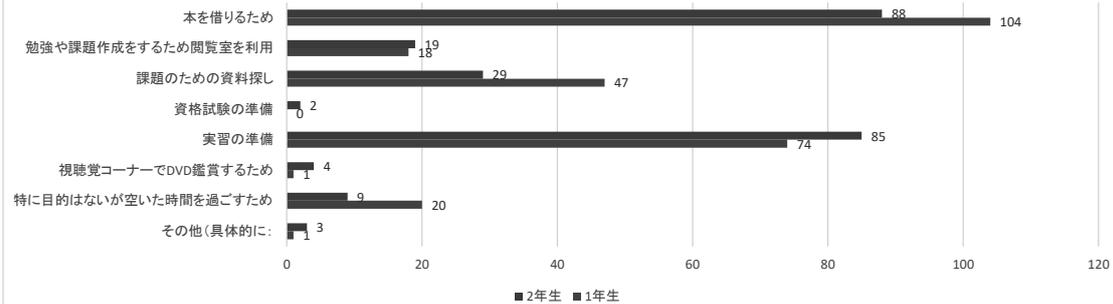
	回答数	回答率
1. 1年生	141	95%
2. 2年生	132	86%
合計	273	91%



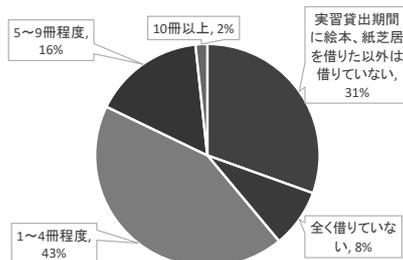
Q3 質問2で、図書館を「全く利用しない」と答えた人に質問します。  
 図書館を利用しない理由は何ですか（複数回答可）



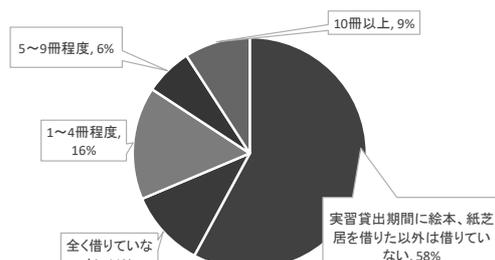
Q4 図書館を利用する目的は何ですか。（複数回答可）



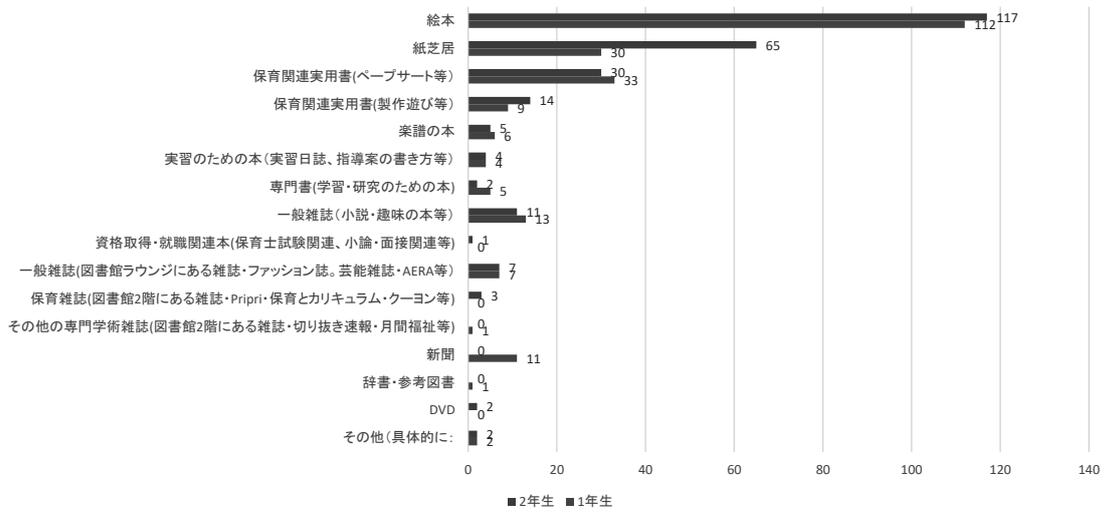
Q5 今年の4月以降、平均すると1ヶ月に何冊借りていますか 1年生



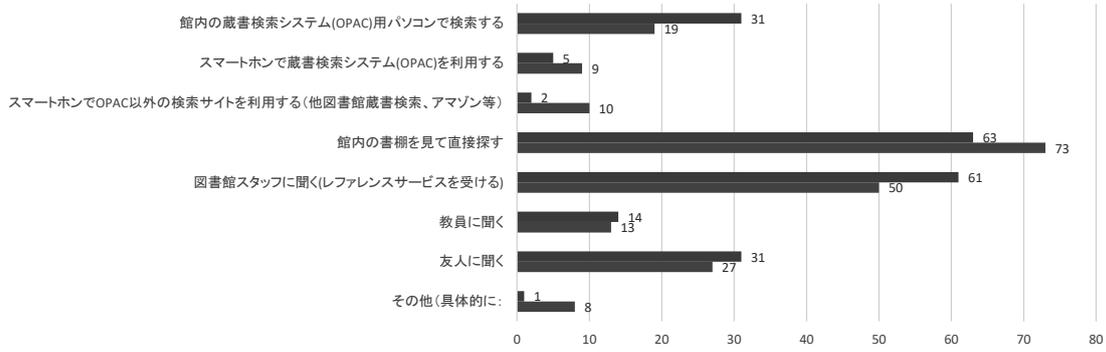
Q5 今年の4月以降、平均すると1ヶ月に何冊借りていますか 2年生



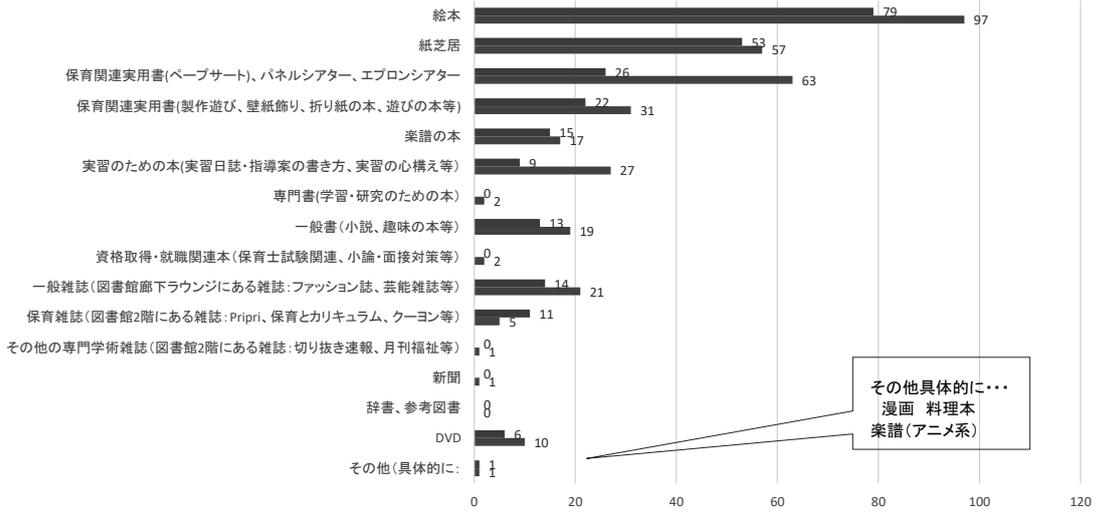
Q6 よく利用する資料はなんですか(複数回答可)

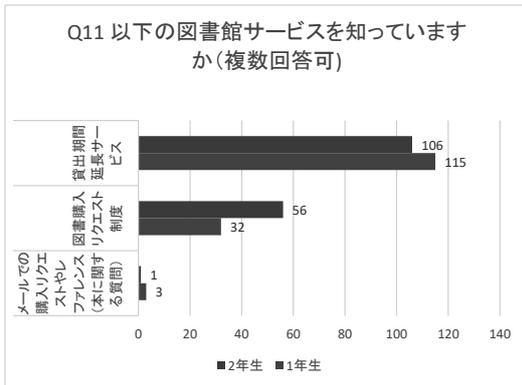
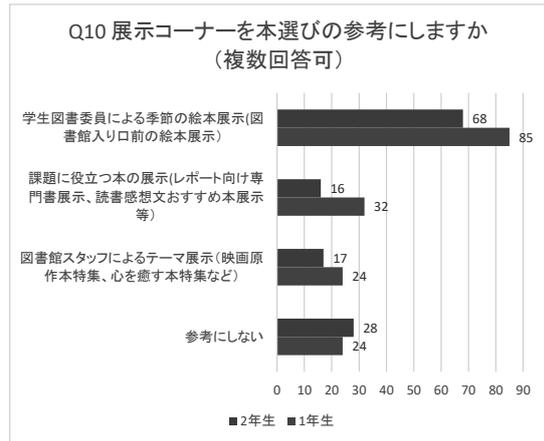
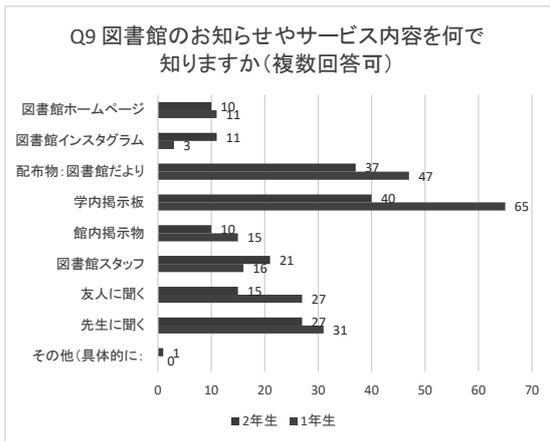


Q7 図書館の資料を探るとき、どう方法で探しますか(複数回答可)



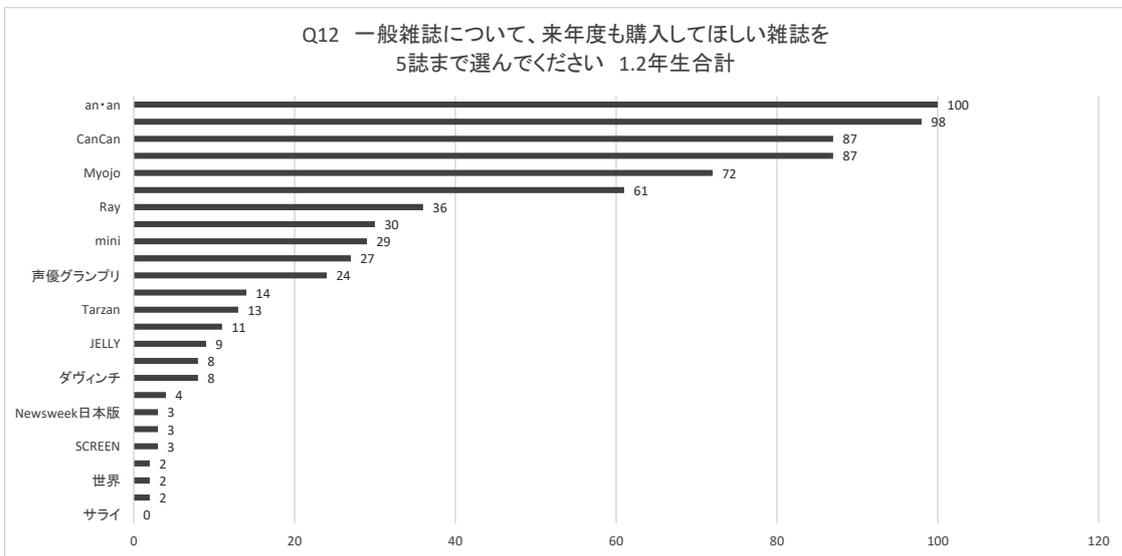
Q8 充実させてほしい資料はどのようなものですか(複数回答可)





### Q13 図書館への要望・提案、図書館スタッフへの要望

- ・毎月のおススメの本など、季節に合った小説を知りたいです
- ・沢山の色々な本や資料を用意して揃えて下さってありがとうございます。
- ・いつもありがとうございます。
- ・いつも優しく教えてくれてありがとうございます。
- ・Nice!
- ・いつもありがとうございます。 2人
- ・スタッフさんが優しいので質問や貸し出しがしやすいです。
- ・純真の図書館は本当に種類が豊富でとても使いやすいです。。  
今後いろいろな場面でお世話になります
- ・声優関係や、コスプレ雑誌とか読んでみたい、、、かなと思います。
- ・これからもよろしくお願いします。
- ・いつもありがとうございます。
- ・これからはもっともっと利用していきたいと思います。
- ・いつも優しく丁寧な対応ありがとうございます。
- ・たくさんの絵本を置いて下さりありがとうございます。



### 【参考】

### 社会学・福祉学・教育学分野専門書 年間貸出冊数の比較

	令和2年度	令和3年度
社会学・福祉学	144	29
教育学	546	188
合計	690	217

## 欠課状況の変化からみる

## 1. 目的

ここ数年の新型コロナウイルス感染症の拡大による様々な日常生活の変化により学生生活も大きな影響を受け、教員の支援にもかかわらず大学に気持ちが向かない学生がでている。そこで、新型コロナウイルス感染拡大前の平成30年度入学生から令和3年度入学生の在学期間1年前後期、2年前後期の4期間ごとの結果状況について在籍生徒ごと比較することにした。以下にその状況を報告し、在籍する学生に対して、いつ、どのような支援をする必要があるかを考える一助としたい。

## 2. 入学生ごとの欠課度数分布について

在籍2年間を年間前後期ごとの欠課数毎の人数による度数分布の変化について比較した。

### (1) 平成30年度入学生

新型コロナ発生前、通常の大学生活が行われていた。平均欠課数は、1年前期10.1回 1年後期12.4回 2年前期19.8回 2年後期16.9回と推移した。欠課数10回までの学生数に注目しても1年前期99名 後期76名 2年前期36名 後期47名と進級後の2年前期での緩みがみられた。しかし、後期は就職活動期となり減少したと考えられる。

### (2) 平成31年度入学生

2年後期は12月から新型コロナウイルス感染拡大による影響が社会生活に表出し始めた。2年後期試験後は春季休業となり大学生活に大きな影響はなかった。平均欠課数は、1年前期10.7回 1年後期18.0回 2年前期10.7回 2年後期9.8回と推移した。欠課数10回までの学生数は、1年前期119名 後期62名 2年前期102名 後期114名となり、平成30年度入学生と異なり1年後期に緩み、進級と同時に改善された。また、2年後期は就職活動期となりさら減少した。保育士として社会にでる準備のはじまりが進級と後輩が入学したことで開始できたと理解できる。

### (3) 令和2年度入学生

入学前より新型コロナウイルス感染症が拡大し、入学式やオリエンテーションなどの学校行事が中止となり、これまでと一変した三蜜を回避する大学生活となった。授業はリモートやハイブリットなどの工夫がされるとともに感染防止対策を徹底して対面授業も実施した。平均欠課数は、1年前期6.1回 1年後期13.4回 2年前期13.2回 2年後期9.5回（2月4日現在）と推移している。欠課数10回までの学生数は1年前期131名 後期94名 2年前期93名 後期122名となった。これまでの入学生と異なり1年前期を欠課数0回で過ごした学生数が35名と倍以上に増加した。また、学生は欠課を増やす者と減らす者の二分化されている様子が見られ、欠課数23回～25回を境にしている。

## 3. これまで状況を踏まえた対応について

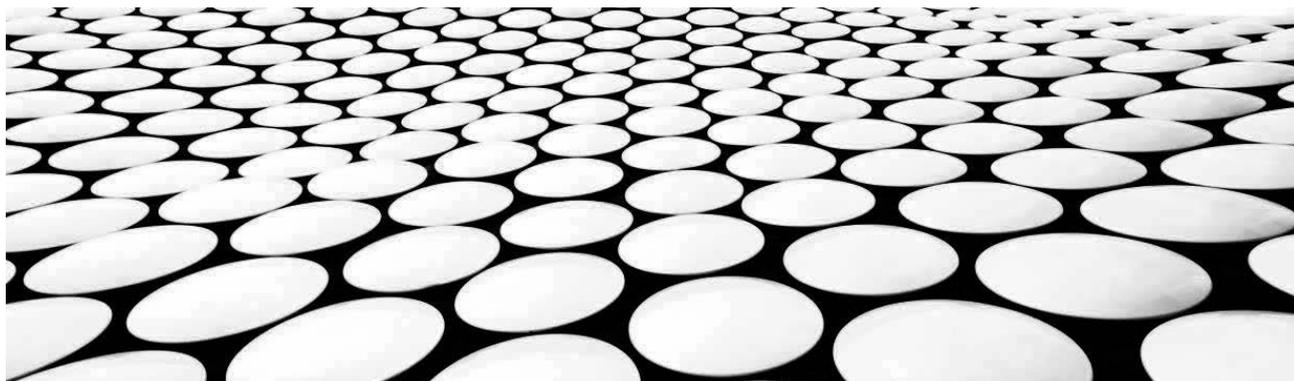
これまで、新型コロナウイルス感染症は第6波の感染拡大を迎えながらウィズコロナの社会生活も定着している。令和3年度入学生は感染防止対策をとりながらの大学生活に慣れてきた。1年前期の欠課数は令和2年度入学生と類似しており、さらに欠課数0回の学生数が5名多い40名となった。

また、後期欠課数平均（2月4日現在）も、前期7.6回から12.4回と令和2年度入学生に類似した増加傾向にある。さらに、2.（3）で示した二分化の状況も、令和3年度入学生1年次にも同様

にみられ、欠課数 23 回～25 回を境となっている。今後、2 年次での欠席数を減少させるために進級に伴い、改めて働きけることが必要と考える。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を取りながら大学生活を過ごすことは、本学への帰属意識や入学時の目的意識などが希薄になりやすい状況にあると考える。そのために前期後期や進級などの節目で適切に働きかけられることが精神的な支えとなり、日常に行われたこれまでの丁寧な教育活動が更に生き、本学が求めている信頼される保育士の養成に繋がると考える。

# 令和3年度 「欠課状況の変化から見る」

～平成30年度から令和3年度入学生について欠課数の変化～



1

## はじめに・・・

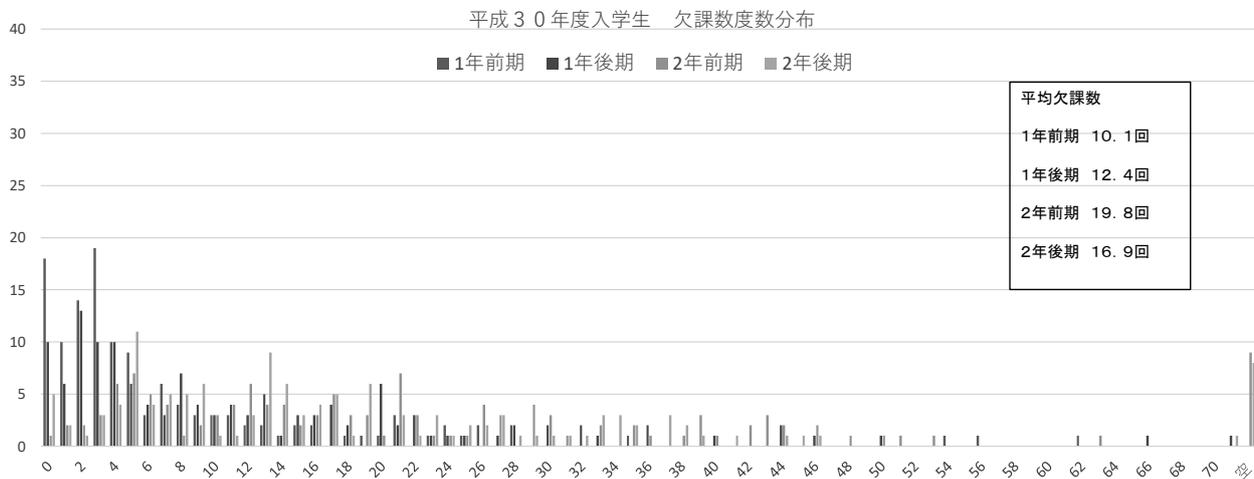
平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
10.1回	10.7回	6.1回	7.6回
12.4回	18.0回	13.4回	12.4回
19.8回	10.7回	13.2回	
16.9回	9.8回	9.5回	

これは入学年度ごと  
1年前期、1年後期、2年前期、2年後期に集計された平均欠課数  
すなわち、一評価期間の学生一人あたりの欠課数 (令和3年度後期は2/4までの集計)

2

# 1 平成30年度から令和3年度入学生について欠課数の変化

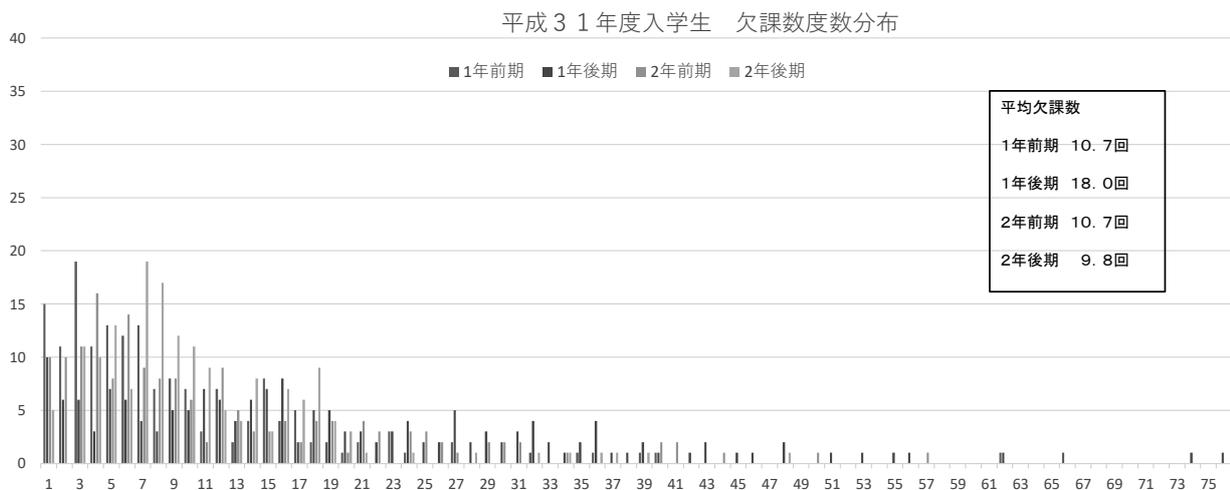
## 平成30年度入学生・・・新型コロナウイルス感染症発生前



3

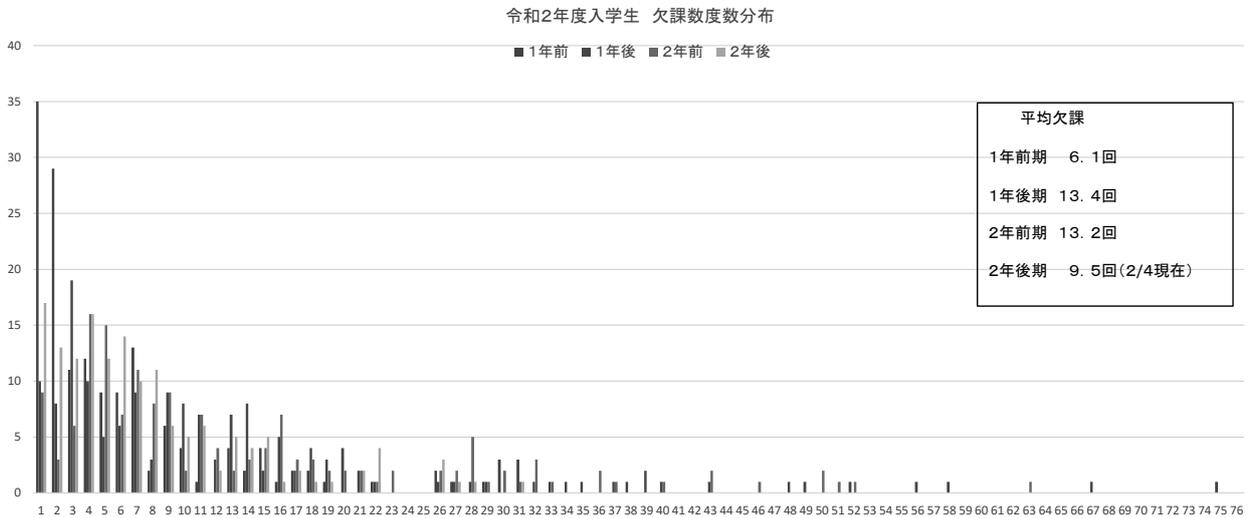
# 平成31年度入学生・・・2年後期に新型コロナウイルス感染症拡大に影響が出始める

## 初めての緊急事態宣言



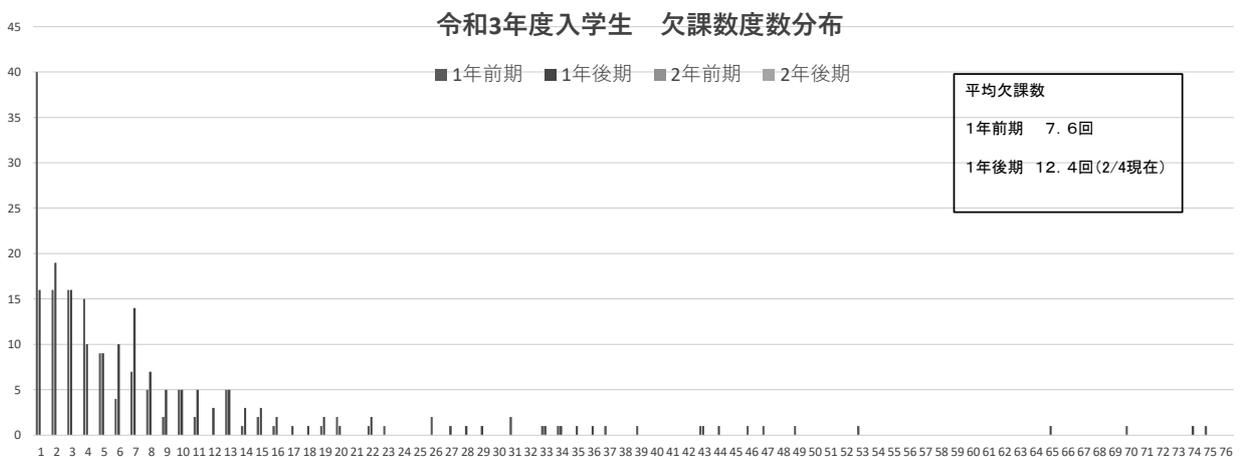
4

**令和2年度入学生・・・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、  
緊急事態宣言の延長により入学式を実施せず。  
先が見えないことへの社会不安感、できる方法工夫しながらの大学生活**



5

**令和3年度入学生・・・新型コロナウイルス感染症の感染拡大も第5波を乗り越え、ワクチン接種も進み  
ウイズコロナの社会生活が定着  
社会不安感は消えないが、感染防止対策をとりながらの大学生活**



6

---

新型コロナ感染症との生活はまだまだ続きます。

- 学生の埼玉純真短期大学への帰属意識を喚起・醸成
- スモールステップによる目的意識の継続的な喚起

今年度は、昨年度以上に工夫より、出来ることも増えました。  
さらに、先を行くために、未来を描くために、様々な情報を整理し、  
現状を踏まえ小さな変化に気づき活かしていくことが重要と考えます。

『入学前から卒業 そして卒業後まで トータルサポートする埼玉純真』

水野 浩

7

## SD 職員取り組み 3分スピーチ

参考文献：

『職場の教養』一般社団法人 倫理研究所

## 目次（五十音順）

荒井 文江	・ ・ ・ 2 0
荒井 文菜	・ ・ ・ 2 1
大木 美晴	・ ・ ・ 2 2
大澤 尚子	・ ・ ・ 2 3
奥貫 慶一郎	・ ・ ・ 2 4
栗原 奈緒美	・ ・ ・ 2 5
相馬 萌	・ ・ ・ 2 6
田口 宏美	・ ・ ・ 2 7
田中 淳一	・ ・ ・ 2 7
寺田 明美	・ ・ ・ 2 8
中村 周	・ ・ ・ 2 9
西山 理恵	・ ・ ・ 3 0
林 真麻	・ ・ ・ 3 0

## 1. 謙虚であればこそ

荒井文江

威張ると運は逃げていくものです。「威張っている人に対して、何かを教えようとする人はいません。」

このように話すのは、首都圏を中心に立ち食いそばチェーン店を展開する「富士そば」会長の丹道夫氏です。

氏は「威張ると情報が入ってこなくなり、運をつかみ損ねる。これは仕事だけではなく、あらゆる場面で大切な事なのです」と語っています。

確かに、威張る人には話しかけづらく、なるべく距離を置きたくなるものです。何かを教えようと思っても、ためらいが生じてやめることもあるでしょう。

自分では自覚がなくても、知らず知らずのうちに尊大な態度をとっていると、情報が入らないばかりか、周囲から疎まれることになりかねません。

だからこそ、いつの世も、謙虚さが求められるでしょう。謙虚さは、それだけに留まらず、その先にある自身の幸運を呼び込む鍵でもあります。

まずは、周囲の人からの呼びかけに爽やかに対応したいものです。

今日の心がけ◆気軽に話しかけられる自分でありましょう（「職場の教養」社団法人倫理研究所より）

こちらを読みまして、謙虚と調べてみると、謙虚な人の 10 の特徴と出てきました。

- ①感謝の気持ちを忘れない
- ②人の話をしっかり聞く
- ③人のせいにしない
- ④自分のことは後回し
- ⑤きちんと頭を下げる
- ⑥人と比べない
- ⑦才能をひけらかさない
- ⑧我慢強い
- ⑨縁の下の力持ち
- ⑩プライドや自信はある。とありました。

私も日々、自分自身の目標として「素直で、謙虚であること!!!」をあげています。ですが、この 10 の特徴を見ると、全然謙虚からはかけ離れている自分に気が付きました。

普段私たちは、二元性の考え方をしてしまいます。

仕事（職場）でも、好き、嫌いで物事を判断してしまいます。

この人は好き、この人は苦手、この仕事は好き、この仕事は嫌い、、など、

ですが、これから謙虚な人を目指すうえで、よく学長先生がおっしゃっているように、まずはイエスで受けることに取り組んでいこうと思いました。

どんなことも自己成長に繋がっていると考え、本日より本格的にスタートする学生食堂での取り組みも、楽しく前向きに行っていこうと思います。

学生が楽しく学校生活を送れるよう、そのお手伝いが出来たらと思います。

## 2. 母の笑顔

荒井文菜

久しぶりに実家に帰省したSさん。外出する際、母が「行ってらっしゃい」と玄関まで見送ってくれました。その瞬間、ふと十年前のことを思い出しました。

当時Sさんは中学生でした。ある朝、家を出ようとする、母親が玄関までやってきて、「行ってらっしゃい」と、笑顔で握手を求めてきました。

その頃は反抗期で、朝から母親と握手をするなど、とても恥ずかしくてできません。Sさんは握手を拒否し、家を出ました。

翌朝、また母親が玄関までやってきて、笑顔で手を差し出してきます。昨日同様、その日も握手を拒否しました。

その後、このやりとりは、ほぼ毎日続きました。五ヶ月経ったある日の朝、何を思ったのか、Sさんから手を出し、母親に握手を求めたのです。

改めて当時を振り返って、息子から拒否されても、笑顔でやり続けた母の偉大さを感じました。

そして、すぐにうまくいなくても、諦めることなく、笑顔でやり続けることが物事を成就させる秘訣だと思ったのでした。

今日の心がけ◆諦めずに続けましょう（「職場の教養」社団法人倫理研究所より）

やり続けることのできる人は、飽き性の私にとって少々ハードルが高いことのように思っていました。このお話にもあるように、思春期に親との握手は、恥ずかしい気持ちになるのは誰しもが通る道かも知れません。

しかし、母親が子どもへ笑顔で握手を求める行為は、子どもとのコミュニケーションをどう取ろうか、考えた末の行動なのだと思います。だとするならば自分の軸をもち、家庭を大切にしながら大人になることの魅力を伝えているように感じます。

コロナ流行で、思うように人に会えない、行きたいところに行けない今、「親孝行はできる時にしておくこと。」「会いたいと思う人には会っておくこと。」を常に考えるようにしようと思います。

大人になった今だからこそ、自分を育ててくれた両親に対する感謝する気持ちを持てるようになりました。

### 3. 日本の伝統色

大木美晴

四季折々の自然や、日本独自の文化や生活の中で育まれてきた色彩を「伝統色」といいます。「藤色」「藍色」「桃色」「茜色」「山吹色」などがあり、現代の着色材料で再現できる色だけでも400色以上あるといわれています。日本の伝統色は、桜の花びらのような淡い紅色を指す「桜色」のように、自然の持つ色合いに由来して付けられたものが多くあり、同じ赤でも何十色もの多様な色があるのは、繊細で豊かな事前が身の回りにあることの証といえるでしょう。

自然の息吹を身近に感じられる春、空を見上げ、草花に目を向けてみましょう。その豊かな色彩が、安らぎと、眠っていた感性を呼び戻すきっかけになるかもしれません。

今日の心がけ◆自然の色に親しみましょう（「職場の教養」一般社団法人 倫理研究所より）

伝統色のひとつ「山吹色」は、赤みがかった黄色で日本に自生するバラ科の低木の植物、山吹の花の色です。桜が散るところから5月にかけて満開の時期を迎えます。万葉集や古今和歌集、源氏物語にも登場する色ですが、現代の人もすぐに思い浮かべることができる馴染み深い色であると思います。

また、源氏物語に登場する色に「若苗色」もあります。田植えの時期の若い苗のような新鮮な黄緑色で、夏の色のひとつとされています。さらに、「若苗色」より、少し緑を濃くした「苗色」もあり、この色は天皇の側に仕える人々の服の色に用いられたそうです。

関心を持って調べてみると、伝統色の名前の由来、その色を作り出すための植物・鉱物、人々の生活との関わりなどを知ることができ、興味深かったです。知ったことによって、さらに関心が高まり、今朝、出勤する際には、近所の庭先で咲いている満開の山吹にも意識が向き、目に留まりました。まもなく田植えの季節なので、植えられた稲が「若苗色」から「苗色」に変化する様も見届けたいと、大変楽しみにになりました。

図書館にも、伝統色に関する本がありますので、「若苗色」と「苗色」の違いを確認したい方は、ぜひご利用ください。保育・幼児教育に携わっていく学生のみなさんにも、季節の移ろいを感じ、自然に親しむきっかけを図書館から積極的に提供していきたいと思います。

#### 4. 不測の事態に

大澤尚子

プロゴルフの試合で実際にあった出来事です。プロの試合では、コースに持ち込めるクラブの本数は十四本までというルールがあります。あるプロゴルファーが、試合途中で、クラブの多いことに気がつきました。

ルールに従い、そのゴルファーには4打罰が科せられました。連続優勝がかかる中、不測の事態が訪れたのです。

自らの責任を感じたその選手のキャディーから、翌日は辞退したいという申し出がありました。しかし、そのゴルファーは、〈キャディーのためにも頑張ろう〉と奮起し、キャディーを変更することなくプレーを続行しました。

失敗を誰のせいにすることなく、自らが奮起する機会に変えたプロゴルファーの姿勢には、学ぶところが多くあるのではないのでしょうか。

今日の心がけ◆責めるより前に進みましょう（「職場の教養」社団法人倫理研究所より）

自分自身が不利な状況になったり、何か悪い立場になってしまったと感じる時などは、どうにかしてその場から逃げたい気持ちになります。

その時の心の中は、誰がやったんだろう？とか、なんでこんなことしたんだろ？なんで今、私がこんな思いをしてるんだろ？などと、この状況を招いたのは、自分以外の誰かのせいなんだと、とにかく、その誰かを責めたい気持ちになっています。

ですが、そんなことを思っても、実際に言ったとしても、今の状況を解決することにはならず、その場から逃げたくても、解決するまで逃げられません。

だとしたら、このお話のプロゴルファーの方のように、なんの解決にもならない相手の失敗を責めて、自分の気持ちも相手のことも傷付けて、嫌な記憶だけを残すよりも、今の状況をもっと良いものに変える方法を選択した方が、仕事の結果としても、人間関係としても、数倍良い結果を得られるのではないかと思います。

業務が立て込んだり、何か難しいことを考えたり、プライベートなどでイライラしてしまっている時など、相手のミスや、心ない言動などを許せない気持ちになることがあります。

そんな時こそ、マイナスの言葉をプラスの言葉に置き換えるように、一呼吸置いて、今の良くないことを、プラスに変えられる方法や、状況を想像してみようと思います。そうすることで、基本マイナス思考の私でも、なんとなく相手を許せる気持ちになれるのではないかと思います。

## 5. 表現者の意図

奥貫慶一郎

ノルウェーの画家、エドヴァード・ムンクの代表作『叫び』は、通称『ムンクの叫び』として、多くの人に知られています。

この絵は、中央の人物が、口を大きく開けて叫んでいるように見えますが、ムンク自身が残した日記によると、「自然を貫く叫びに耐えられる耳を塞いでいる姿」を描いたものだという事です。

また、フランスの彫刻家、ロダンの『考える人』は、もともと彼の大作『地獄の門』の一部としてつくられたものです。「門の上に座って、地獄の様相を眺めつつ思索に耽る詩人」として構想された作品で「考える」だけではなく、「見ている」姿でもあるようです。

様々な芸術作品をどう観るかは、鑑賞者の主観に委ねられます。1つの作品をじっくりと観たり、表現者の意図や制作の背景を知るとは、鑑賞眼を更に高め、完成を磨く機会となるでしょう。

工夫して時間を作り、美術館や博物館に出かけて、名品に触れてみましょう。

今日の心がけ◆芸術に親しみましょう（「職場の教養」社団法人倫理研究所より）

『叫び』を最初映像で見たとき奇妙な色が渦巻いていると思いました。『考える人』『地獄の門』は国立西洋美術館にあります。この詩人はおそろしく感じることなくそこに座っていることを想像したのかと思います、いつも妙に背筋が寒くなるような気持ちになります。そのように思う人がいることに作者は、してやっつかりの気持ちかもしれませんが。

芸術作品はその人の主観で、実に様々な見方ができます。私の場合は鑑賞の際、解説や説明を事前に見ないことにしています。見聞きすると固定観念が生まれてしまい、自分の判断ができなくなるような気がしてならないからです。同一の解釈も良いでしょうが、自分自身の感じ方を大切にしないと、いろいろな判断を他人にしてもらわないと不安だということになりますから。

学生の進路先選びでは、親や友人、先生に判断を委ねる学生がいます。100%正しいかどうかは現場に長くいる人でもわからないと思います。毎日いても毎日違うのが現場です。小さな変化の見逃しで失敗するとどうなるかの結果も様々です。ゆえに学生にも芸術作品と同様に、いろいろな見方（見学やボランティア等）をしてもらいたいです。そのためのアドバイスは行ってまいります。最終的に自分の身を預ける場所を自ら判断し決めることが、最善の就職先を見つける道だと考えます。

## 6. 考える力

栗原奈緒美

インターネットの普及により、様々な事柄が容易に検索できます。

しかし、それに伴って、自分自身で答えを導き出すことを疎かにしがちです。

例として、昨日1日に日本全国で生まれた新生児の数や、日本人全員を同じ建物に入れて着席させる場合の建物の広さなどを考えてみます。

検索に頼らずに、おおよその値を求めることができるでしょうか？

これらの問いに対する正解は、おそらくどこにも載ってはいないでしょう。

答えを導くには、自分の持っている知識を活用し、推論を重ねなければなりません。

昨日の新生児数は、昨年1年間に生まれた乳児の数を365で割った値に近いのではないのでしょうか。

昨年の新生児数がわからなければ、それも様々な観点から推測する必要があります。建物の広さについては、着席した時の一人が占有する面積に、日本の人口を掛ければ求められます。

日本の人口も、わかれなければ推測してみます。

今日1日、これらの値について、あれこれ考えてみてはいかがでしょうか。

今日の心がけ◆自分で考える機会を作りましょう（「職場の教養」社団法人倫理研究所より）

学校や職場、日常生活の全てにおいて人の頭の中は、常に回転し働いています。ただし、人によって頭の回転、つまり”考える力”は様々で、勉強や仕事内容、日常生活に個人差として出ていると思います。

文中にもありますように、インターネットやAIの発展に伴い、あらゆるものを検索できて、簡単に自分の欲しい答えを手に入れることができます。

こうして簡単に手に入れた情報を知識と思い込み、自分の考えで出した答えだと錯覚しがちになっているのではと思います。

多くの情報を簡単に得ることそのものが悪いことではなく、情報入手に留まらず、いかにそのものを活用できるかを考えるということが必要であり、重要だと思います。

また、本学の学生から感じたことは、”考える力”と”書く力”は比例していると思えます。指導案やレポートなどを書くにあたり、自分の考えをしっかりと持っている学生は、自分らしさのある文章力となっているのを感じます。

保育者を目指す学生にとって、自分の考えを的確に表現するという事は、園児たちにストレートに伝わるはずですが。

学生にとって、”考えること”と”書くこと”は、重要なテーマであり、課題と言えます。本学で学ぶ2年間で自身の目標について、しっかりと考えて良い結果に繋げてほしいと改めて感じました。

## 7. パン派とごはん派

相馬萌

今朝の朝食は何を食べましたか。通常、パン派とごはん派の二通りに分かれるのではないのでしょうか。

Aさんは、ごはん派ですが、妻はパン派です。結婚して一緒に暮らすようになり、<朝食には、お米のご飯を食べたい>と強く思うAさんにとって、パンが食卓に上がるたびに、ちょっとした不満を抱いていました。

ある日、妻の実家に行くと、朝食はいつもパンを中心とした洋食であることに気がつきました。昔から、朝食はパンの日が多かったそうです。

逆にAさんの実家は、米作りをする農家だったため、一年中ごはんが当たり前でした。朝食の好みも、生まれ育った家庭環境を背景としていたことは、妻も自分も一緒であったことがわかりました。

人と人が席を同じくすれば、価値観の違いは必ずあるものです。同時に、その価値観の背景も、またそれぞれにあるものでしょう。互いの背景を思いやることで、家庭も、職場も、より和やかになるでしょう。

今日の心がけ◆互いを思いやりましょう（「職場の教養」社団法人倫理研究所より）

自分の当たり前だと思うことが、他人にも必ずしもそうであるとは限りません。そして、それはどちらが悪いわけではなく、育ってきた環境などによって作られた価値観の違いだったりします。

つい、自分の感覚で他人の考えや行動を否定してしまいがちですが、相手がなぜそうするのかを、一旦考えてみることも必要だと思いました。そして、相手の背景を考えたり、話し合ったりして理解していくような関係が作れるとよいと思いました。

自分一人の問題であれば、朝ごはんは何を食べようと自由です。しかし、家族がいれば、どちらかに合わせるのか、順番にするのか、各々好きなものを食べるのか、相手と折り合いをつける必要があります。

仕事であれば、もっと多くの人に関係し、なおさら個人の価値観は気を付けなければならないと思います。相手の考えも尊重し、判断できるようにしたいと思います。個人での決めつけにならないように、例えば法律や学則など決まりがあるものは必ず確認が必要ですし、自分では気づけないこともまだまだありますので、他人の意見も聞き、相談するようにして、偏った考えにならないように気を付けたいと思いました。

## 8. 恥の上塗り

田口宏美

失敗をして、恥ずかしく思うことを「恥をかく」といいます。さらに失敗を重ねて、恥をかくことを「恥の上塗り」と表現します。通常、恥をかくような失敗をした時には、〈次は失敗しないように〉と慎重になり、さらに失敗を重ねることは少ないものです。ところが、失敗をした恥ずかしさから、冷静な判断ができなくなってしまう場合もあります。そうした時に、普段ではありえないような失敗を重ねて、恥の上塗りをしてしまうようです。

また、自分の失敗に気づいた時、それを隠そうとして、「言い訳」をしてしまうことがあります。これも、恥の上塗りと言えるかもしれません。失敗は、どのように言い繕っても失敗でしかありません。その経験を次に活かさなければ、成長にはつながりません。それを「言い訳」で隠そうとすると、自身の成長が望めず、周囲にも悪い印象を与えます。

失敗を認め、思いつき恥をかいて、大きな成長を目指しましょう。

今日の心がけ◆言い訳は恥の上塗りと心得ましょう（「職場の教養」社団法人倫理研究所より）

失敗したときは、「報告・連絡・相談」と言われるように、まず報告することが大切だと思っています。職場であれば周りにすぐ報告をし、適格に処理をすることが必要です。一番やってはいけないことは、言い訳や嘘をつくことです。その場はごまかせたとしても、後々嘘だったことは分かってしまいます。そして一度嘘をついてしまうと、信頼を取り戻すにはかなりの労力が必要になります。

そうならない為にも、失敗したときは正直に謝罪することが大切です。また、同じ失敗を繰り返さないよう、マニュアル作成、メモをとる等、その都度確認しながら物事を進めていかななくてはいけないなど、改めて思いました。

## 9. 猛暑日

田中淳一

ここ数年来、夏場のニュースや天気予報などで、「猛暑日」という言葉をよく耳にするようになりました。気象庁では、一日の最高気温が二十五度以上の日を「夏日」、三十度以上の日を「真夏日」、三十五度以上の日を「猛暑日」と定めています。かつては、最高気温が

三十五度を超える日が少なかったため、そうした日を表わす正式な予報用語はありませんでした。しかし、最高気温が三十五度を超える日が増えたことから、気象庁は二〇〇七年四月一日に予報用語を改正し、「猛暑日」を新たに設定したのです。「猛」には「勢いがさかん、程度がはなはだしい」などの意味があります。それだけに、「猛暑」と聞いただけで気持ちが萎えたり、体の具合を心配し過ぎたりするというマイナスの心がもたげ、行動面も切れが悪くなりがちです。暑さも自然の大きな働きの一つです。温度管理、水分補給などの対策は十分に行いつつ、暑さを受け入れ、八月を乗り切っていきたいものです。

今日の心がけ◆夏の健康管理に努めましょう（「職場の教養」社団法人倫理研究所より）

熱中症予防運動指針では、31℃以上の場合、運動は原則禁止特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべきになっています。気温や暑さで運動が中止されることはそうなかったと思います。東京オリンピックでも暑さで競技時間の見直しがあり変更させて実施されました。学生や子どもが可哀想で仕方ありませんが、体調に気をつけて運動をさせてあげたいです。

## 10. 紫陽花のように

寺田明美

紫陽花には「一家団欒」「移り気」などの花言葉があります。また、白、青、紫、ピンクなど多様な色を付けるため、色によって「元気な女性」「寛容」「冷淡」といった多くの花言葉を持っています。

良い意味、悪い意味、両面の花言葉を持つように、紫陽花の淡い青色を「きれいで癒される」と思う人もいれば、「暗い」「冷たい」と感じる人もいるでしょう。その時の心の状態によって、良いほうに受けとめることもあれば、マイナスに受けとめてしまうこともあるでしょう。

4月に入社した人、新しい部署に異動した人は、4ヶ月目に突入しました。今いる環境をどう感じるかは自分次第です。紫陽花のように環境に応じつつ、明るさと自分なりの「色」を出し、職場で輝いていきたいものです。

今日の心がけ◆雨の日も明るく過ごしましょう（「職場の教養」社団法人倫理研究所より）

毎年6月になるとわが家の庭にも紫陽花が咲き、憂鬱な梅雨の時期を爽やかな雰囲気にしてくれます。花壇の植栽は花の色や開花時期、樹高や株張など、特徴を捉えてあれこれ考える時間が楽しいものです。それは植物が健康に美しく育つ庭作りの基本でもありま

す。主となる花を一株植えただけでは台風や夏の厳しい暑さに耐えられないことがあります。一緒に植える植物を工夫すると、病気に強く元気な姿が長く楽しめます。

職場に置き換えてみても、足りない部分を気付いた人がサポートするなど、バランスの取れた職場での関係が互いの存在を引き立てる事になるような気がします。素敵な色で調和した環境で働けることに感謝しつつ、苦手なことも前向きに取り組む姿勢は忘れずにいたいと思いました。

## 11. 笑顔の効用

中村周

Mさんは仕事中に、社長から「そんな難しい顔をしていないで、ちょっと笑顔になってごらんよ」と言われました。

〈突然、何を言うのだろうか?〉と思いながらも、仕方なくニコッと笑ってみたMさん。すると、社長から、満面の笑みで「良い笑顔だ」と褒められたのです。

今までMさんは、笑顔を褒められたことはなく、ましてや社長から何かを褒められた記憶もありません。

社長の言葉に、嬉しさと恥ずかしさが混在しましたが、これをきっかけに、自分に対する見方が変わったのです。

〈自分では気づかなかったけれど、笑顔は自分の魅力かもしれない〉と思い、笑顔に磨きをかける方法を調べてみました。

笑顔づくりのポイントは、目尻を下げ、口角を上げ、歯を見せることを意識すると良いことがわかりました。

早速、Mさんは鏡の前で笑顔の練習をしました。

すると、鏡には良い表情の自分が映っていたのです。

その笑顔を見て、自分に自信が出てきました。

そして、〈笑顔になると、気持ちも明るくなるのだな〉と、心の変化も感じたのです。

今日の心がけ◆自分の魅力を知りましょう（「職場の教養」社団法人倫理研究所より）

何かを集中して考えなければならないような時は、表情がどうしても硬くなります。気持ちが外を向いていないので、人を相手にする顔ではなくなります。そんな顔では、話しかけたいと思っている人を避けてしまいます。

仲間と一緒に仕事を進めるうえで、相手を認知した時は、自然と笑顔になれるものです。ただ、その切り替えが上手くできない方や、そもそも気付けない方もいるでしょう。なかには、意図的に「話したくない」オーラを出して、相手との関係を遮断してしまう人もいるかもしれません。

笑顔とは、相手を受け入れる窓口になるそうです。目元を下げ、口元を上げ、上の歯を見せる、それで笑顔は成立しますが、技術的なことを考えるより、心を笑顔にできれば、それが表情に生まれるはずです。

アメリカの哲学者の名言に「楽しいから笑うのではなく、笑うから楽しいのだ」とあります。感情とは、行動によって生み出されるそうです。相手を幸せにして自分も幸せになる、そんなコミュニケーションを意識したいと思います。

## 12. 引き出しの中の秘密

西山理恵

Yさんはオーダーメイド眼鏡を制作する仕事を始め、今年で10年目になりますが、入社3年目の頃に作った眼鏡をデスクの引き出しに入れてあります。

その仕上がりは自分で満足のいくものでしたが、経験を積んだ今眼鏡をみると、完璧とは程遠い仕上がりだったとわかります。

未熟な第一号眼鏡を時々取り出しては眺め、技術が上達した今も慢心せず「まだまだ努力しなければ」と自分を奮い立たせています。

今日の心がけ◆初心を忘れずにいましょう（「職場の教養」一般社団法人倫理研究所より）

何事も、初めてのことに對してはとても慎重になるものです。最初のころはミスをしないよう、丁寧に取り組んでいたことも、慣れてくると注意力が欠けてしまいます。

車の運転がいい例ではないでしょうか。免許を取得したばかりの頃は緊張感を持っていましたが、慣れてしまった今では考え事をしながら運転することも増えてしまいました。大きな事故につながらないよう、気を引き締めなければならぬと考えさせられました。

運転だけではなく、仕事の取り組み方や人との付き合い方も同じことが言えるのではないのでしょうか。何事に対しても、初心を忘れずマナーを守り、丁寧に向き合っていこうと改めて思いました。

## 13. 落ち込んだ時には

林真麻

失敗をして、〈何をやってもうまくいかない〉と落ち込んだり、気持ちがふさいでしまったりする経験は、誰にでもあるでしょう。そのような場合の対処法は、人それぞれに異なるようです。例えば、「誰かに話す」「美味しいものを食べる」「買い物をする」「趣味に没頭する」「とにかく寝る」「散歩する」などが挙げられます。

Kさんは、落ち込んだ時には「書く」ことにしています。紙とペンがない時は、携帯電話

のメモ機能を使います。落ち込んでいる状況や今の気持ち、マイナスの感情など、自分の中に溜まっているものをすべて書き出します。

誰にも見せないため、遠慮なく書きます。「書く」ことで自身を客観的に見られるため、小さな物事にこだわっていることに気づいたり、日頃どれだけ周りの人に支えられているかを知ることができ、感謝の念が湧くといえます。

自分の中の思いを吐き出して、心の中を空っぽにしたら、あとは良いものをどんどん取り込むだけです。そして、前向きな気持ちで次に進んでいきます。

今日の心かげ◆自分の気持ちを書き出してみましよう（「職場の教養」社団法人倫理研究所より）

落ち込むということは本気で頑張っている証拠だと思います。頑張っていた分、成果が出なかった時のショックは大きいです。私の場合、落ち込み、悩んだ時は、信頼のできる人に、自分が落ち込んでいる原因や悩みを話します。職場の人や母、夫や友人、時には子ども達に…悩みの内容によって相手は変わりますが、話すことで自分の気持ちや考えが整理され、話すすとスッキリし前向きな気分になれます。

そして、元気が戻ったころに、聞いてくれた人に感謝をします。もしその人が落ち込んだ時は、私が話を聞いてあげたいと思います。

もう一つは、今日の心がけにもあったように、私も書き出しています。紙に書き出すというよりは、携帯のメモの部分に自分の中の感情を打ち出しています。そうすることによって少しスッキリとした気持ちになります。仕事でも園や学生とのやり取りをメモし、記録に残すと安心する気持ちになります。書き出したり、記録に残すことで、なぜか前向きな気持ちになったり、安心できます。

また、無心になって掃除機をかけたりもします。「部屋の乱れは心の乱れ」と言われますが、部屋が綺麗になると心もスッキリしますので、私なりに落ち込み、悩んだ時の対処法を試しています。

学生も色々な悩みを抱えています。落ち込んでしまうのは、一生懸命頑張っている証拠ですので、頑張っている学生を褒めて、心を許して話せる存在になりたいと思います。

## FD ルーブリックに関する発表

## 目次 (五十音順)

藤田 利久	・ ・ ・	34
小澤 和恵	・ ・ ・	38
小澤 俊太郎	・ ・ ・	40
加藤 房江, 三友 玲子	・ ・ ・	45
金 美珍	・ ・ ・	49
高橋 努	・ ・ ・	51
原口 政明	・ ・ ・	53
平井 厚志	・ ・ ・	56
布施 由起	・ ・ ・	58
細田 香織	・ ・ ・	61
持田 京子	・ ・ ・	63

# 教育原理

ルーブリックを通しての学習評価

藤田利久

## 評価基準を伝えることで 学習者のメリット

学習者が評価基準を知った上での学習の中で  
「今、自分がどの項目をどれくらいできているのか？」  
という自己評価が可能。

そのため、学習者の主体性と意欲を引き出す教育設計が可能。

新たな教育設計で、学習ニーズ合わせた教育が可能。

学習者は、学習ニーズ満足から主体的学習参加。

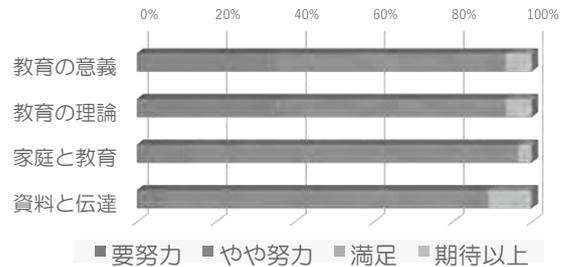
## ルーブリック自己評価(結果)

2021.9

/人	要努力	やや要努力	満足	期待以上
教育の意義	0	47	81	9
教育の理論	0	48	80	9
家庭と教育	0	14	97	4
資料と伝達	0	9	113	15

## ルーブリック自己評価(結果) 教育原理

2021.9



教育原理 15回を通しての自己評価				
	相当の努力を要する	やや努力を要する	満足できる	期待以上である
到達目標/評価基準	1	2	3	4
生涯学習社会における教育の現状に興味と関心を持ち、教育の基本的意義や目的を十分に理解できる。	現代社会における教育に興味や関心を持つことができていない。	現代社会における教育に興味や関心を持ってはいない。	現代社会における教育に興味や関心を持っており、教育の基本的意義や目的を部分的に理解できている。	現代社会における教育に深く興味や関心を持っており、教育の基本的意義や目的を十分に理解できている。
教育の思想と歴史的変遷について学び、教育に関する基礎的な理論や教育実践について理解する。	教育の思想と歴史的変遷について学び、教育に関する基礎的な理論や教育実践について理解する。	教育の思想と歴史的変遷について学んでいない。	教育の思想と歴史的変遷について学び、教育に関する基礎的な理論や教育実践について、一定の理解をすることができている。	教育の思想と歴史的変遷について十分に学び、教育に関する基礎的な理論や教育実践についても理解できている。
教育の制度や目的を理解し、子どもと学校・家庭との教育のかかわりを理解する。	教育の制度や目的の理解が不十分で、子どもと学校・家庭の教育のかかわりについて理解が十分でない。	教育の制度や目的の理解が部分的であり、子どもと学校・家庭の教育のかかわりの理解が十分とは言えない。	教育の制度や目的を理解し、子どもと学校・家庭の教育のかかわりがある程度は理解できている。	教育の制度や目的を十分に理解しており、子どもと学校・家庭の教育のかかわりも十分に理解できている。
相互教授の重要性を理解し、資料を作成し、要点を捉えながら、適切な言葉遣いや態度で発表する。	相互教授の重要性の理解が不十分で、要点を捉えなかったり、適切な言葉遣いや態度ができていない。	相互教授の重要性の理解が十分でなく、資料作成や適切な言葉遣いや態度も十分とは言えない。	相互教授の重要性を理解し、資料を作成し、要点を捉えながら、適切な言葉遣いや態度で一定の発表ができている。	相互教授の重要性を理解し、適切な資料を作成し、要点を捉えながら、適切な言葉遣いや態度でしっかりと発表ができている。

## 教育原理 15回を通しての自己評価

教育原理 15回を通しての自己評価	
到達目標/評価基準	期待以上である
	4
生涯学習社会における教育の現状に興味と関心を持ち、教育の基本的意義や目的を十分に理解する。	現代社会における教育に深く興味や関心を持っており、教育の基本的意義や目的も十分に理解できている。

## ループリック評価を行うにあたり 授業で心掛けた事項

- \* 授業の感想にコメントをする。
- \* 前回授業で要望があった箇所を再度説明をする。
- \* 質問を受け、回答をする。
- \* 授業で学んだ（役立った）を確認する。
- \* 授業の教員の授業評価と学生自身の自己評価をする。

## 授業個人管理票（授業ごとの自己評価）

		教育原理				個人管理票		
回数	日	参画点	質問点	レポート	FB test	合計	今日の理解度	今日の授業で最も印象的なモノ・コト
第1回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第2回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第3回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第4回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第5回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第6回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第7回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第8回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第9回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第10回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第11回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第12回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第13回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第14回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第15回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
授業回数	月 日							

## 個人評価表の記入説明

この個人管理票は成績評価の基礎資料です。  
この個人出席管理票をなくした場合は、  
成績がつけられなくなることがあります。

参画点：積極参画は5点、遅刻と早退などがある場合は2点です。

質問点：1時限の授業で質問は1回1点で最高5点。

レポート：内容や質を問わずに量で判断します。  
量は質を生むといわれます。

## (教育原理) 個人管理票

回数	月日	参画点	質問点	レポート	FB test	合計	今日の理解度	今日の授業で最も印象的なモノ・コト
第1回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第2回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第3回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第4回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	

## 今日の授業のテーマ（授業記入のトップ）

子育ては「樹を植え、育てる」がごとし  
『養育往来』、江戸時代、善家・小川保庵

「元来、小児は善悪共伝染り(うつり)易く、  
育て方に因(よ)って如何様にも相成るべし。  
まず、四、五歳から添木をして、みだりに  
繁らせないようにし、勝手気ままな悪い枝葉が  
はびこらないよう、不品行やわがままをさせず  
そうしてはいけない、これはこうするべき」  
と一つひとつ教えて聞かせるとうい。

I hear, and I forget  
I see, and I remember  
I do, and I understand.  
- Confucius

## 授業ごとの記入項目

授業の中で、もう一度説明して欲しいこと（簡筆書きでも良い。）

なんでも質問（次回の授業で回答します。）

今日の授業で学んだ（役立った）こと（簡筆書きでも良い。）

今日の教員授業評価（たいへん良い・良い・まあまあ・あまり良くない・良くない）  
今日の私の授業態度（たいへん良い・良い・まあまあ・あまり良くない・良くない）  
その理由：

7月 日（ 曜日） 時限 学番 氏名

### 授業終了後の学生の記入項目

- \* **今日の授業の感想** (感じのままに書いてください)
- \* **授業の中で、もう一度説明して欲しいこと** (箇条書きで良い)
- \* **なんでも質問** (次回の授業で回答します)
- \* **今日の授業で学んだ(役立った)こと** (箇条書きで良い)
  
- \* **今日の教員授業評価** (その理由:  
(たいへん良い・良い・まあまあ・あまり良くない・良くない))
- \* **今日の私の授業態度** (その理由:  
(たいへん良い・良い・まあまあ・あまり良くない・良くない))

### ルーブリック評価利用で注意したこと

1. 到達目標とレベルを明確に示す。
2. フィードバックテストなどで  
理解度・到達度チェックをこまめにする。
3. 事前・事後学習を徹底する。
4. こまめな質問と回答で理解度を高める。

(教育原理) 個人管理票

回数	日にち	参画点	質問点	レポート	FBtest	合計	今日の理解度	今日の授業で最も印象的なものなど
第1回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第2回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第3回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第4回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第5回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第6回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第7回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第8回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第9回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第10回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第11回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第12回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第13回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第14回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
第15回	月 日	/5	/5	/10	/10		S・A・B・C	
定期試験	月 日							
合計点	点	点	点	点	点	点		

この個人管理票は成績評価の基礎資料です。この個人出席管理票をなくした場合は、成績がつけられなくなることがあります。

参画点： 積極参画は5点、遅刻と早退などがある場合は2点です。

質問点： 1時間の授業で質問は1回1点で最高5点。

レポート： 内容や質を問わずに量で判断します。量は質を生むといわれます。

点数は、その都度、みなさん個人で記入してください。

曜日 時間 クラス 学生番号

氏名



## FD SD研修会

# ルーブリック評価試行報告

## 「保育内容（音楽表現）指導法」

小澤和恵

### 「保育内容（音楽表現）指導法」ルーブリック評価

到達目標	1	2	3	4
1. 手遊び歌を含む歌唱活動の指導ができる。 ＜評価方法＞ 観出物・ワークシート ・指導書 発表（模擬授業） 定期試験	・歌唱活動の構成を知る。 ・手遊び歌、生活の歌、季節の歌、メッセージングを、いくつかでも歌うことができる。	・歌唱活動の意義を知る。 ・手遊び歌のレパートリーを5曲もち、生活の歌、各季節の歌、メッセージングを、それぞれ得意のレパートリーがある。	・歌唱活動の指導法を知る。 ・手遊び歌のレパートリーを10曲もち、生活の歌、各季節の歌、メッセージングを、それぞれの指導法を身につけ、歌の活動の指導法が作成できる。	・手遊び歌のレパートリーを20曲もち、生活の歌、各季節の歌、メッセージングを、それぞれの指導法に合う指導法を正式で作成できる。
2. 楽器を使った活動の指導ができる。 ＜評価方法＞ 観出物・ワークシート ・指導書 ・楽譜 定期試験	いくつかのリズム楽器の音を鳴らせる。	・楽器を使った活動の意義を知る。 ・様々な楽器の名称と奏法を理解できる。	・楽器を使った活動の指導法を知る。 ・発達段階に合わせた楽器活動を理解し指導できる。 ・楽器活動の指導法が作成できる。	・アンサンブルや楽器合奏の指導ができる。 ・より表現豊かな楽器活動にするための工夫や編曲ができる。
3. リトミックを含む、創造的、総合的な表現活動の方法を学び、指導できる。 ＜評価方法＞ 観出物・ワークシート 発表 定期試験	・リトミック活動や、創造的表現活動がどのようなものであるか知っている。	・リトミックを取り入れた活動または、創造的表現の方法を理解する。	・リトミックを取り入れた活動または、創造的表現の指導法が作成できる。	・総合的な表現活動についての発表を作成し、実践できる。

### 〈項目〉

1. 手遊び歌を含む歌唱活動の指導ができる。
2. 楽器を使った活動の指導ができる。
3. リトミックを含む、創造的、総合的な表現活動の方法を学び、指導できる。

### 〈評価〉

#### 1. ワークシート

それぞれの活動の種類を知る、意義を知る、指導法を知るなどの理論的なことはワークシートで確認できるようにしている。

各シートに学びのコメント記入欄を設けるようにしてキーワードが含まれているか内容を評価

### 〈評価〉

#### 2. レポートリー表

手遊びの模擬授業を全員が行い、発表のあった手遊びをレポートリー表に書き込んでいく。各自、練習や実践する中でスキルを上げ、14回目の授業で、それぞれの手遊びの習得具合を自己評価し、レポートリー表自己評価欄に記入し提出。習得数を評価

### 〈評価〉

#### 3. 編曲

編曲する力；音楽の基礎力（拍子やリズム、記譜力）

楽器の特性を理解している

子どもの発達や人数などの状況に合わせる力

音楽のセンス

課題曲の編曲（リズム楽器を入れた器楽合奏に編曲）を評価

## 〈評価〉

### 4. 発表

- ①手遊びの模擬授業(指導法についてのチェックポイント)
- ②歌唱曲(弾き歌い)の模擬授業(指導法についてのチェックポイント)  
指導法を評価
- ③課題曲を身体表現などを取り入れ、より豊かな表現にしてグループ発表 … 表現力を評価

## 今年度行った評価

	予定していた評価	変更後の評価	
提出物	30%	ワークシート レポーター表 編曲	60%
授業内の発表 参画度	20%	発表	20% 20%
定期試験	50%		

## まとめ

今年度は、ルーブリック評価であげた内容をワークシート、レポーター表、編曲、発表等の方法で評価を行なった。

## 課題

- ①学生自身がルーブリック評価を意識して学習成果を実感できるようにする。  
⇒ルーブリック評価に細目を加え、目標の見える化を図る。

## 課題

- ②リトミック、総合的表現活動の評価の不十分さ  
⇒計画的な授業実施を行い、指導案作成と実践の時間を確保する。

## 課題

- ③「表現力・指導力」の評価  
表現とは…感じたこと、考えたことを何らかの形に表す  
学生自身が表現豊かであること、そして、子どもの考えていること、思っていることを引き出す力をどう評価するか！？  
⇒具体的な表現手段、方法の項目立てを設け、  
感じたこと、考えたことが表現できているか評価できるようにしつつ…、  
表現の可能性を狭めないようにしたい。

音楽 I におけるルーブリック評価の導入  
～総合評価のズレから見た今後の課題～

小澤 俊太郎

1

## 結論

1. 歌の評価の難しさ
2. 総合評価の難しさ

2

音楽とルーブリック評価

3

そもそも、音楽は

- ・ 評価するのが難しい
- ・ 言語化できないもの

4

ルーブリック評価は

- ・ 明確に評価を分ける
- ・ 言葉で表記する

5

音楽とルーブリック評価の相性は悪い

6

ルーブリック評価のメリット

数値化  
 Ⅱ  
 見える化

7

音楽において評価に見える化

学生のモチベーションになる

8

音楽という”なんとなく”なもの  
 ↓  
 “ここまでできた”という達成感に

9

3つのフェーズ

フェーズ1…作成  
 フェーズ2…運用  
 フェーズ3…活用

10

フェーズ1（作成）

アダプティブラーニング（レベル別に）

11

到達目標	1(C)	2(B)	3(A)	4(S)	評価
1.各レベルに定じた楽曲を弾くことができる。 ●バイエル前半レベル ●バイエル後半レベル ●ブルグミュラー以上レベル (評価方法) 個人レッスンと音楽1の試験にて評価	●41番以上の曲を弾くことができる ●80番以上の曲を弾くことができる ●担当教員と定めた目標40%到達した。	●45番以上の曲を弾くことができる ●70番以上の曲を弾くことができる ●担当教員と定めた目標60%到達した。	●60番以上の曲を弾くことができる ●85番以上の曲を弾くことができる ●担当教員と定めた目標80%到達した。	●75番以上の曲を弾くことができる ●90番以上の曲を弾くことができる ●担当教員と定めた目標100%到達した。	40%
2.各回レッスンでの心拍数記録(赤・黄)の伸びがよい。 (評価方法) 個人レッスンと音楽1の試験にて評価	・歌詞を覚え、正確に歌うことができる ・両手でピアノ伴奏をつけることができる	・歌詞が聞き取れる大きさを歌うことができる ・リズム、テンポを守ってピアノ伴奏をつけることができる	・歌詞がはっきりと聞き取れない、適切な大きさを歌うことができる ・強弱を意識し、ピアノの伴奏をつけることができる	・歌詞がはっきりと聞き取れない、適切な大きさを歌うことができる ・強弱を意識せず、最後まで止まらずに演奏することができる	30%
3.基礎的な楽典を理解している (評価方法) 合同授業内で実施の小テストにて評価	小テストで平均40点以上取れている。	小テストで平均50点以上取れている。	小テストで平均60点以上取れている。	小テストで平均70点以上取れている。	10%
4.基礎的な授業に取り組んでいる (評価方法) 合同授業・個人レッスン内で評価	受講上の注意を守っている				20%

12

項目名・音楽I	1(C)	2(B)	3(A)	4(S)	評価
到達目標 1.各レベルに相当した楽曲を弾くことができる。 ●バリエーション前半レベル ●バリエーション後半レベル ●ブルグミュラー以上レベル (評価方法) 個人レッスンと音楽Iの試験にて評価	●30番以上の曲を弾くことができる ●50番以上の曲を弾くことができる ●担当教員と定めた目標40%到達した。	●45番以上の曲を弾くことができる ●70番以上の曲を弾くことができる ●担当教員と定めた目標60%到達した。	●60番以上の曲を弾くことができる ●85番以上の曲を弾くことができる ●担当教員と定めた目標80%到達した。	●75番以上の曲を弾くことができる ●100番以上の曲を弾くことができる ●担当教員と定めた目標100%到達した。	40%
2.各レベルでの必修課題曲(各・4)の弾き進めができる。 (評価方法) 個人レッスンと音楽Iの試験にて評価	・歌詞を覚え、正確に歌うことができる ・両手でピアノ伴奏をつけることができる	・歌詞が聞き取れる大きさと歌うことができる ・リズム、テンポを守ってピアノ伴奏をつけることができる	・歌詞がはっきりと聞き取れる大きい、適切な大きさと歌うことができる ・強弱を意識し、ピアノの伴奏をつけることができる	・歌詞がはっきりと聞き取れる大きい、適切な大きさと歌うことができる ・弾き直しをせずに、最後まで丁寧に演奏することができる	30%
3.基礎的な楽理を理解している (評価方法) 合同授業内で実施の小テストにて評価	小テストで平均40点以上取れている。	小テストで平均60点以上取れている。	小テストで平均80点以上取れている。	小テストで平均100点以上取れている。	10%
4.道徳的・社会的に行動している (評価方法) 合同授業や個人レッスン内で評価	受講上の注意を守っている				20%

13

音楽I～IV 履修上の注意
<ul style="list-style-type: none"> <li>●合同授業、個人レッスンで出された課題にきちんと取り組むこと。</li> <li>●授業中は、おしゃべりしたりせずに、きちんとした態度で授業を受けること。</li> <li>●教員の指示のないところでスマートフォンの操作をしないこと。</li> <li>●111・112教室・ピアノ練習室での飲食は厳禁。</li> <li>●ピアノレッスンを受ける前に爪を切っておくこと。</li> <li>●ピアノレッスン室の使用方法を守って利用すること。</li> <li>●授業は1コマ90分、終了までは、練習、または課題に取り組み必ず持っていること。</li> <li>●厚手のコートなどの防寒着は脱いだりしてレッスンを受けること。(ジャケット等は問題ありません)</li> </ul> <p>以上の事項を全て守っていて、20%(点)分の評価につながります。 毎日生きる自覚を持ち、頑張る行動を心がけましょう。</p> <p style="text-align: right;">音楽担当教員</p>

14

項目名・音楽I	1(C)	2(B)	3(A)	4(S)	評価
到達目標 1.各レベルに相当した楽曲を弾くことができる。 ●バリエーション前半レベル ●バリエーション後半レベル ●ブルグミュラー以上レベル (評価方法) 個人レッスンと音楽Iの試験にて評価	●30番以上の曲を弾くことができる ●50番以上の曲を弾くことができる ●担当教員と定めた目標40%到達した。	●45番以上の曲を弾くことができる ●70番以上の曲を弾くことができる ●担当教員と定めた目標60%到達した。	●60番以上の曲を弾くことができる ●85番以上の曲を弾くことができる ●担当教員と定めた目標80%到達した。	●75番以上の曲を弾くことができる ●100番以上の曲を弾くことができる ●担当教員と定めた目標100%到達した。	40%
2.各レベルでの必修課題曲(各・4)の弾き進めができる。 (評価方法) 個人レッスンと音楽Iの試験にて評価	・歌詞を覚え、正確に歌うことができる ・両手でピアノ伴奏をつけることができる	・歌詞が聞き取れる大きさと歌うことができる ・リズム、テンポを守ってピアノ伴奏をつけることができる	・歌詞がはっきりと聞き取れる大きい、適切な大きさと歌うことができる ・強弱を意識し、ピアノの伴奏をつけることができる	・歌詞がはっきりと聞き取れる大きい、適切な大きさと歌うことができる ・弾き直しをせずに、最後まで丁寧に演奏することができる	30%
3.基礎的な楽理を理解している (評価方法) 合同授業内で実施の小テストにて評価	小テストで平均40点以上取れている。	小テストで平均60点以上取れている。	小テストで平均80点以上取れている。	小テストで平均100点以上取れている。	10%
4.道徳的・社会的に行動している (評価方法) 合同授業や個人レッスン内で評価	受講上の注意を守っている				20%

15

## フェーズ2 (運用)

# 見える化

16

項目名・音楽I	1(C)	2(B)	3(A)	4(S)	評価
到達目標 1.各レベルに相当した楽曲を弾くことができる。 ●バリエーション前半レベル ●バリエーション後半レベル ●ブルグミュラー以上レベル (評価方法) 個人レッスンと音楽Iの試験にて評価	●30番以上の曲を弾くことができる ●50番以上の曲を弾くことができる ●担当教員と定めた目標40%到達した。	●45番以上の曲を弾くことができる ●70番以上の曲を弾くことができる ●担当教員と定めた目標60%到達した。	●60番以上の曲を弾くことができる ●85番以上の曲を弾くことができる ●担当教員と定めた目標80%到達した。	●75番以上の曲を弾くことができる ●100番以上の曲を弾くことができる ●担当教員と定めた目標100%到達した。	40%
2.各レベルでの必修課題曲(各・4)の弾き進めができる。 (評価方法) 個人レッスンと音楽Iの試験にて評価	・歌詞を覚え、正確に歌うことができる ・両手でピアノ伴奏をつけることができる	・歌詞が聞き取れる大きさと歌うことができる ・リズム、テンポを守ってピアノ伴奏をつけることができる	・歌詞がはっきりと聞き取れる大きい、適切な大きさと歌うことができる ・強弱を意識し、ピアノの伴奏をつけることができる	・歌詞がはっきりと聞き取れる大きい、適切な大きさと歌うことができる ・弾き直しをせずに、最後まで丁寧に演奏することができる	30%
3.基礎的な楽理を理解している (評価方法) 合同授業内で実施の小テストにて評価	小テストで平均40点以上取れている。	小テストで平均60点以上取れている。	小テストで平均80点以上取れている。	小テストで平均100点以上取れている。	10%
4.道徳的・社会的に行動している (評価方法) 合同授業や個人レッスン内で評価	受講上の注意を守っている				20%

17

## Googleクラスルームで見える化

**成績・評価に関して**

ループリック評価

ループリック評価を活用します。  
成績がどのように評価されているのか、添付資料を参考にしてください。

音楽Iループリック (Ver... PDF

音楽I～IV履修上の注意... PDF

資料を表示

18



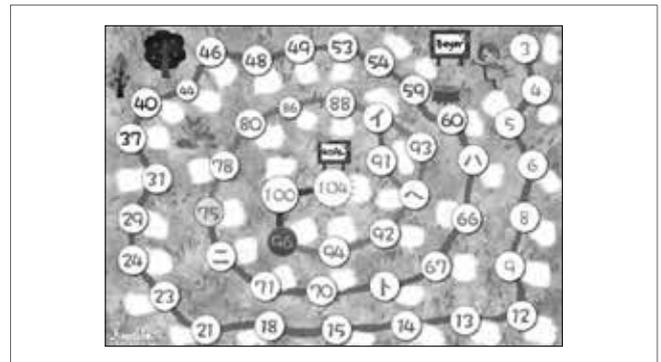
19



20

バイエス全履修目安	
1	基礎的知識
2	基礎的知識
3	基礎的知識
4	基礎的知識
5	基礎的知識
6	基礎的知識
7	基礎的知識
8	基礎的知識
9	基礎的知識
10	基礎的知識
11	基礎的知識
12	基礎的知識
13	基礎的知識
14	基礎的知識
15	基礎的知識
16	基礎的知識
17	基礎的知識
18	基礎的知識
19	基礎的知識
20	基礎的知識
21	基礎的知識
22	基礎的知識
23	基礎的知識
24	基礎的知識
25	基礎的知識
26	基礎的知識
27	基礎的知識
28	基礎的知識
29	基礎的知識
30	基礎的知識
31	基礎的知識
32	基礎的知識
33	基礎的知識
34	基礎的知識
35	基礎的知識
36	基礎的知識
37	基礎的知識
38	基礎的知識
39	基礎的知識
40	基礎的知識
41	基礎的知識
42	基礎的知識
43	基礎的知識
44	基礎的知識
45	基礎的知識
46	基礎的知識
47	基礎的知識
48	基礎的知識
49	基礎的知識
50	基礎的知識

21



22

**フェーズ3 (活用)**

**評価のブレを最小限に**

23



24



# ルーブリック評価について

保育実習指導Ⅱ

加藤 房江 三友 玲子



## 大学教員のためのルーブリック評価入門



- ダネル・スティーブンス
- アントニア・レビ著
- 佐藤浩章監訳
- 井上敏憲、俣野秀典訳
- 玉川大学出版部(2021年)

ルーブリックを簡単に言うと・・・

- 「ある課題について、出来るようになってもらいたい特定の事柄を配置するための道具」
- ある課題をいくつかの構成要素に分けて、その要素ごとに評価基準を満たすレベルについて説明したもの。
- レポート、書評、討論への参加、実験レポート、ポートフォリオ、グループワーク、プレゼンテーションなど様々な評価に使える。

権威ある規則・赤色・特別な字体で印刷された表題

ルーブリックは、4つの要素できている

作成手順

- 1 課題
- 2 評価尺度
- 3 評価観点
- 4 評価基準



### 1 課題

- 教員が学生に期待する「行動」が含まれている。
- 課題には、例えば、レポート・論文、ポスター、プレゼンテーションといった、特定の形式が求められる。
- これは、授業への参加、実験室内でのルール遵守、授業中に求められるマナーといった全般的な行動にも適応できる。

- 課題と成績評価を一緒に示すことにより、その内容や評価基準は学生にとって現実的なものとなり、注意深く読んでもらえる。
- 学生が成績評価を気にするということを利用して、教員が求めていることをできるだけ明確に伝えることができる。

- 教員が後で課題を見直し、再検討するような場合にも便利。
- 「シラバス参照」「配布物参照」、詳しい課題の内容をルーブリックの横に記すこともできる。
- 読みやすく、採点しやすくするためには、ルーブリックは特殊な場合を除いて1ページ以上にすべきではない。

## 2 評価尺度

- 評価尺度は、与えられた課題がどれだけ達成されたかを表すもの。
- レベルを示す評語は、教育的配慮が必要で、しかも明確でなければならない。
- 一般的なルーブリックで使われるのは「特に優秀」「かなり優秀」「前進途中」「萌芽的」という言葉。

- これらは、肯定的で前向きな表現であり、学生が次に求められていることを言葉で説明している。
- また最低レベルの評価尺度で評価された時に受けるショックを和らげることにもなる。
- 「上級」「中級」「初級」という非評価的で非競争的な用語を好む教員もいるし、数字や A・B・C 評定を好む教員もいる。

- 実際に課題を与えて、そのルーブリックを使用した後に、5段階にするようにしている。
- 学生が実際にどのようなことをするのかを見た後の方が、課題を書き直したり、段階を増やしたりしやすいからである。
- ルーブリックの評価尺度に決められた段階数はないが、ほとんどの教員は、3-5段階の評価尺度で行動を記述することを好んでおり、5段階が上限である。

- 段階を増やせば増やすほど段階間の違いを付けることが難しくなるし、評価の理由を明確にすることも難しくなる。
- 一方で、詳細に決められた段階は、学生にとっては課題の内容をより明確にするし、教員にとっては採点の際に細かいコメントを書く時間を軽減する。
- 多くの教員は、ルーブリックの評価尺度としては3つが最適であると考えている

## 3 評価観点

- ルーブリックでは、課題をいくつかの評価観点に分けて、わかりやすく漏れのないように配置する。
- ルーブリックによって、課題はどのような要素に分解され、どの要素が最も重要なのかを明確にすることができる。
- 重要なのは文法なのか、分析なのか、事実なのか、研究技法なのか。

- こうした課題のいくつかの側面にどの程度の比重が置かれて、評価観点に割合やポイントを付けることで、その課題の各側面の相対的な重要度をさらに強調することができる。
- 評価観点では、学問的に優れた成果物に結び付いていなければならないスキルを具体的に表現すべきである。  
(例: 内容の理解・技法・引用・例示・分析・適切な表現の使い分け)

13

- 適切に作成された場合、ルーブリックの評価観点は、こうしたスキルを単に示すだけでなく、採点終了後に学生自身に評価観点ごとに強みと弱みを素早く把握する機会を与えることになる。
- 作業の構成要素が明確に特定化され、学生も教員もその作業の有用性を理解できる。

14

- ルーブリックの評価観点と優れた評価基準の記述は、学生向けの課題の特定部分に対する詳細なフィードバックとなり、その課題がどの程度できていたのか、もしくはできていなかったのかを知る機会ともなる。

15

#### 4 評価基準

- 評価観点ごとに少なくとも最高レベルの評価基準を記載しておく必要がある。
- 学生がなぜ最高レベルの評価に値しなかったのかを伝える必要がある。
- 評価尺度のレベルが一段下がった箇所では理想的なレベルと比較してどこが違うかが記載されている。

16

- それに対し、最も低いレベルの箇所では達成すべきだったことが強調されている点である。
- できなかったという事実のみではなく、達成の可能性も強調されている。

17

#### まとめ

- ルーブリックを作って使ってみる最初の段階というのは、簡単に言えば、振り返りの時間である。
- 自分自身の教育、評価、スカラシップ(学識)に関わる基本的な前提や信念を言語化することになる。

18

- ・自らを学生の立場に置き、「何を」学んだのかだけではなく、「どのように」学べば最も効果的であったのか、つまり求められていることの中で何が明確であったか、どの課題が重要なのか、どのフィードバックが役立ったのかという点に焦点を当てて振り返ることになる。
- ・課題を通して学生たちが達成して欲しいことを上手に伝えられるようになる。

19

科目名：保育実習指導Ⅱ	1 (C)	2 (B)	3 (A)	4 (S)	評価
1. 保育実習Ⅰの経験を踏まえ、保育士の専門性、職業倫理を理解し、保育の実践的な力を身につけようとする。	保育士の専門性、職業倫理に基づき、保育の実践的な力を身につけようとしている。	保育士の専門性、職業倫理について知り、保育の実践的な力がおおよそ身につけている。	保育士の専門性、職業倫理について理解し、保育の実践的な力を身につけている。	保育実習Ⅰの経験を踏まえ、保育士の専門性、職業倫理を理解し、保育の実践的な力や多様な思考力・判断力が身につけている。	30%
2. 保育の観察、記録、自己評価に基づき保育の改善について、実践や事例を通して理解できる。	保育の観察、記録、自己評価に基づき保育の改善について、実践や事例を通して理解しようとしている。	保育の観察、記録、自己評価に基づき保育の改善について、実践や事例を通して理解しようとしている。	保育の観察、記録、自己評価に基づき保育の改善について、実践や事例を通して理解することができる。	保育の観察、記録、自己評価に基づき保育の改善について、実践や事例を通して理解し、多様な思考力・判断力が身につけている。	30%
3. 事後指導や自己評価を通して、保育に対する課題を明確にすることができる。	事後指導や自己評価を通して、保育に対する課題を明確にすることができる。	事後指導や自己評価を通して、保育に対する課題を明確にすることができる。	事後指導や自己評価を通して、保育に対する課題を明確にすることができる。	事後指導や自己評価を通して、保育に対する課題を明確にし、多様な思考力・判断力が身につけている。	40%

1  
シラバスの到達目標や授業のねらいなども参考に、3～6項目を挙げる。

20

科目名：保育実習指導Ⅱ	1 (C)	2 (B)	3 (A)	4 (S)	評価
1. 保育実習Ⅰの経験や成長の軌跡を踏まえ、保育士の専門性、職業倫理を理解し、保育の実践的な力を身につけようとする。	保育士の専門性、職業倫理に基づき、保育の実践的な力を身につけようとしている。	保育士の専門性、職業倫理に基づき、保育の実践的な力がおおよそ身につけている。	保育士の専門性、職業倫理について理解し、保育の実践的な力を身につけている。	保育実習Ⅰの経験を踏まえ、保育士の専門性、職業倫理を理解し、保育の実践的な力や多様な思考力・判断力が身につけている。	30%
2. 保育の観察、記録、自己評価に基づき保育の改善について、実践や事例を通して理解できる。	保育の観察、記録、自己評価に基づき保育の改善について、実践や事例を通して理解しようとしている。	保育の観察、記録、自己評価に基づき保育の改善について、実践や事例を通して理解しようとしている。	保育の観察、記録、自己評価に基づき保育の改善について、実践や事例を通して理解することができる。	保育の観察、記録、自己評価に基づき保育の改善について、実践や事例を通して理解し、多様な思考力・判断力が身につけている。	30%
3. 事後指導や自己評価を通して、保育に対する課題を明確にすることができる。	事後指導や自己評価を通して、保育に対する課題を明確にすることができる。	事後指導や自己評価を通して、保育に対する課題を明確にすることができる。	事後指導や自己評価を通して、保育に対する課題を明確にすることができる。	事後指導や自己評価を通して、保育に対する課題を明確にし、多様な思考力・判断力が身につけている。	40%

1  
シラバスの到達目標や授業のねらいなども参考に、3～6項目を挙げる。

21

### 感想

- ・ルーブリックを使うことで、時間を節約し、評価の基準がとても明確になる。
- ・評価方法が記されていることで、評価が平等で公平になる。
- ・ルーブリック・厚労省のシラバスと自分で作成したシラバスの整合性をよく確認する。
- ・まだまだ始まったところで、今後も工夫も必要かと思う。

22

# 保育内容（健康） 指導法 ルーブリック



金 美珍

## 保育内容（健康）指導法 授業の概要

健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うために必要な知識・技術を身に付ける。

特に指導案の作成、模擬保育の実施を通して、乳幼児期の健康に関わる生活習慣や心身の発育・発達、運動発達の特徴の理解を深め、適切な指導方法を身につける。



## 【成績評価の方法】

- ▶定期試験（50%）
- ▶模擬指導、レポート（30%）
- ▶授業参加の姿勢（20%）



### 成績評価方法に沿って、作成したルーブリック評価構成

到達目標	1 (C)	2 (B)	3(A)	4(S)	評価
1. 領域「健康」のねらい及び内容に基づき、子どもの健康な姿とその発達について理解できる。 (評価方法) 定期試験	(1～19点) 子どもの健康な姿とその発達について理解できていない。	(20～30点) 領域「健康」のねらい及び内容に基づき、子どもの健康な姿とその発達についてほとんど理解できていない。	(31～40点) 領域「健康」のねらい及び内容に基づき、子どもの健康な姿とその発達についてほとんど理解できている。	(41～50点) 領域「健康」のねらい及び内容に基づき、子どもの健康な姿とその発達について深く理解できている。	50%
2. 模擬保育の実践やグループ作業において決められた、メンバーとしての役割を果たすことができる。 (評価方法) 模擬授業	(4～6点) グループ作業において決められた、メンバーとしての役割を全く果たしていない。模擬保育の実践ができていない。	(7～9点) 模擬保育の実践を行っているものの、グループ作業において決められた、メンバーとしての役割をほとんど果たしていない。	(10～12点) 模擬保育の実践ができていない。グループ作業への決められたメンバーとしての役割を果たしている。	(13～15点) 模擬保育の実践ができていない。グループ作業において決められた、メンバーとしての役割を積極的に果たしている。	15%
3. テーマの趣旨を読み取り、テーマに関する自分自身の考えを積極的に述べる。 (評価方法) レポート	(4～6点) レポートを提出していない。あるいは評価できるレベルに達していない。	(7～9点) テーマの趣旨を読み取り、テーマに関する必要をまとめていない。	(10～12点) テーマの趣旨を読み取り、テーマに関する自分の考えを積極的に述べている。	(13～15点) テーマの趣旨を読み取り、テーマに関する自分の考えを積極的に述べている。	15%
4. 授業への参加および態度	(～5点) 欠席回数が3回以上の遅参者	(6～10点) 欠席回数が2回の遅参者	(11～15点) 欠席回数、遅参回数が1回であり、Sの条件を満たしていない。	(16～20点) 全出席であり、Sの条件を満たしている。	20%

## 1. 定期試験（50%）

到達目標	1 (C)	2 (B)	3(A)	4(S)	評価
1. 領域「健康」のねらい及び内容に基づき、子どもの健康な姿とその発達について理解できる。 (評価方法) 定期試験	(～19点) 子どもの健康な姿とその発達について理解できていない。	(20～30点) 領域「健康」のねらい及び内容に基づき、子どもの健康な姿とその発達についてほとんど理解できていない。	(31～40点) 領域「健康」のねらい及び内容に基づき、子どもの健康な姿とその発達についてほとんど理解できている。	(41～50点) 領域「健康」のねらい及び内容に基づき、子どもの健康な姿とその発達について深く理解できている。	50%

▶ 試験問題の出題形式  
語群から選び解答欄に記入する、括弧に当てはまる言葉を書き込む、選択問題等



## 2. 模擬指導（15%）

到達目標	1 (C)	2 (B)	3(A)	4(S)	評価
2. 模擬保育の実践やグループ作業において決められた、メンバーとしての役割を果たすことができる。 (評価方法) 模擬授業	(4～6点) グループ作業において決められた、メンバーとしての役割を全く果たしていない。模擬保育の実践ができていない。	(7～9点) 模擬保育の実践を行っているものの、グループ作業において決められた、メンバーとしての役割をほとんど果たしていない。	(10～12点) 模擬保育の実践ができていない。グループ作業への決められたメンバーとしての役割を果たしている。	(13～15点) 模擬保育の実践ができていない。グループ作業において決められた、メンバーとしての役割を積極的に果たしている。	15%

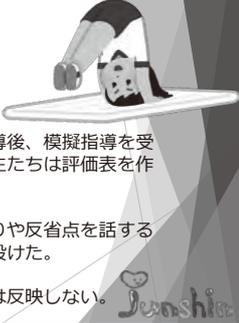
▶ グループ（4～5名）で運動遊びの指導を行う  
運動遊び指導の導入、展開、まとめまで結びついているか、また、指導するときの表情や立ち位置、態度、話し方



模擬指導後、模擬指導を受けた学生たちは評価表を作成した。

振り返りや反省点を話す時間を設けた。

成績には反映しない。



### 3. レポート (15%)

3. テーマの趣旨を読み取り、テーマに関する自分自身の考えを積極的に述べる。(評価方法) レポート	(4~6点) レポートを提出していない、あるいは評価できるレベルに達していない。	(7~9点) テーマの趣旨を読み取り、テーマに関する必要最低限の考えを述べている。	(10~12点) テーマの趣旨を読み取り、テーマに関する考えをまとめている。	(13~15点) テーマの趣旨を読み取り、テーマに関する自分自身の考えを積極的に述べている。	15%
---	--	---	--	--	-----

▶ 指導案、レポート提出



導入の工夫がされているか、展開は充実しているか、展開の内容がまとまって結びついているか、記入漏れがあるか

時間	内容	評価	備考
8:10	導入	○	
8:12	展開	○	
8:30	展開	○	
8:52	展開	○	
8:59	展開	○	
9:46	まとめ	○	

①模擬指導を終えて

クラス: A 出席番号: 21804 名前: 竹本 希希

②模擬指導を終えて

クラス: A 出席番号: 21804 名前: 竹本 希希

▶ レポート：丁寧に、自分の考えを最後の行まで述べているか

### 4. 授業参加の姿勢 (20%)

4. 授業への参加および態度	(~5点) 欠席回数が3回以上の履修者	(6~10点) 欠席回数が2回の履修者	(11~15点) 欠席回数、遅刻回数が1回であり、Sの条件を満たしていない。	(16~20点) 全出席であり、Sの条件を満たしている。	20%
----------------	---------------------	---------------------	--	------------------------------	-----

▶ 出欠席状況进行评估



### クラスごとの成績評価

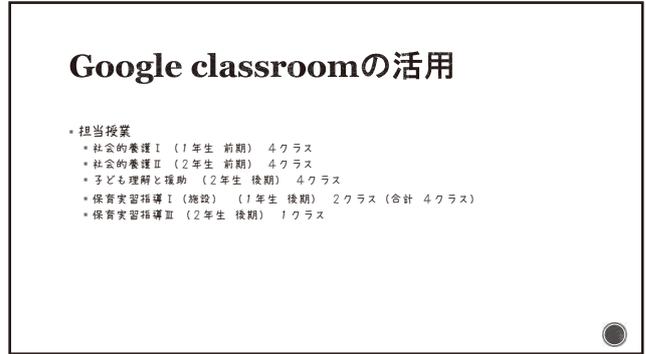
	A組	B組	C組	D組
S点	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
A点	11(28.9)	3(7.9)	7(18.9)	14(35.9)
B点	16(42.1)	17(44.7)	12(32.4)	10(25.6)
C点	11(28.9)	18(47.4)	18(48.6)	15(38.5)
合計	38(100.0)	38(100.0)	37(100.0)	39(100.0)

定期試験、模擬指導、レポートを総合して評価した結果は、AクラスはBが多く、B、CクラスはCが多かった。Dクラスの点数はとくに偏りはなかった。学生の点数がABC点に分布されていたため、点数を一ランク上げるための工夫が必要であると考えた。定期試験の際には、資料の持ち込み可にするとか、1回の欠席までSにするなどのルーブリックの修正が必要である。

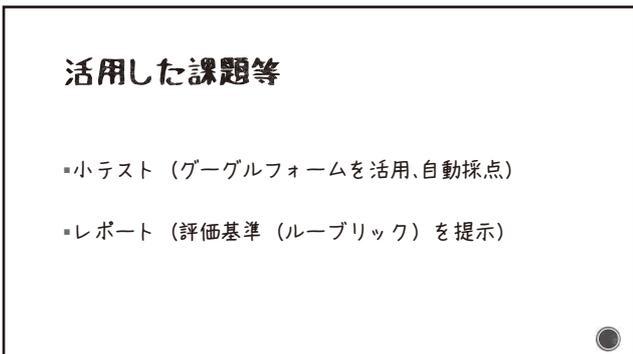




1



2



3



4



5



6

## 考察

### > 良い点

- 採点集計などが効率的に行える
- 評価基準が明確なため、学生が解答を作成しやすい
- 紙ベースの提出が不要（資源・保管の簡略化）

### > 悪い点

- 授業終了後の確認作業（採点後の返却など）
- 遅れて提出した学生の対応
- 家庭内でのインターネット環境



令和3年度 FD研修会

短大における評価の実施に当たっての課題

ー 後期授業『子ども家庭支援論』を通して ー

## ポイント ルーブリックを授業に生かす

令和4年3月2日(水)  
埼玉純真短期大学  
原口 政明

## 「学力の3要素」との関連

- 「学力の3つの要素」と評価



- 指導と評価の一体化



## 「三つのポリシー」との関連

- ディプロマ・ポリシー
- カリキュラム・ポリシー
- アドミッション・ポリシー



## 多様な学生への対応

- 学力の差 平均～平均の下
- 意欲の差
- 穏やかで思いやりがある
- リーダーシップや表現力に課題
- 配慮の必要な学生への対応

## 「知識の伝達・注入」から「能動的な学習」へ

- アクティブ・ラーニングの実施



## 学修成果の把握・評価 評価の方法

- テストによる評価
- パフォーマンス評価
- ルーブリック
- ポートフォリオ評価
- まとめと振り返り

## 学修成果の把握・評価 評価の対象

- 客観テスト式の問題
- 自由記述式の問題
- 活動断片的な評価
  - 発問への応答 活動の観察
- パフォーマンス課題
  - 小論文 作文 レポート 新聞 プレゼン
  - アクティブ・ラーニングなど



## ルーブリック

- 第2回授業 レポート
- 第5回授業 レポート
- 第11回授業 レポート 新聞作成
- 第12回授業 新聞のグループ発表
- 第13回授業 新聞の全体発表
- 第14回授業 小テスト
- 第15回授業 レポート まとめと振り返り



## 学修ルールのご理解

- 携帯使用
- 居眠り
- 成績処理

科目名: 子ども発達英語	D	C	B	A	S	得点
<b>問題1</b> 項目 学力の3要素 三つのPの反映	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついてまとめると できないう。	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついてまとめること ができていない。	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついておおよそ理解 できている。	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついて十分に理解 できている。	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついて自分の考えを 入れて、十分に理解 できている。	35%
<b>問題2</b> 記述語	読者の感情を捉 えられず、30% 程度で記述語 が用いられて いる。	読者の感情を捉 えられず、50% 程度で記述語 が用いられて いる。	読者の感情を捉 えられず、70% 程度で記述語 が用いられて いる。	読者の感情を捉 えられず、80% 程度で記述語 が用いられて いる。	読者の感情を捉 えられず、90% 程度で記述語 が用いられて いる。	30%
<b>問題3</b> 比率割合	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついてまとめること ができていない。	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついてまとめること ができていない。	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついておおよそ理解 できている。	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついて十分に理解 できている。	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついて自分の考えを 入れて、十分に理解 できている。	40%
<b>問題4</b> 評価回数	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついてまとめること ができていない。	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついてまとめること ができていない。	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついておおよそ理解 できている。	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついて十分に理解 できている。	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついて自分の考えを 入れて、十分に理解 できている。	40%
<b>問題5</b> 各評価→最終評価	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついてまとめること ができていない。	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついてまとめること ができていない。	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついておおよそ理解 できている。	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついて十分に理解 できている。	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついて自分の考えを 入れて、十分に理解 できている。	40%
<b>問題6</b> 学生にとって	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついてまとめること ができていない。	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついてまとめること ができていない。	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついておおよそ理解 できている。	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついて十分に理解 できている。	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついて自分の考えを 入れて、十分に理解 できている。	40%
<b>問題7</b> 他評価との連動	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついてまとめること ができていない。	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついてまとめること ができていない。	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついておおよそ理解 できている。	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついて十分に理解 できている。	学習で課題に対する 支障の意識、目的に ついて自分の考えを 入れて、十分に理解 できている。	40%

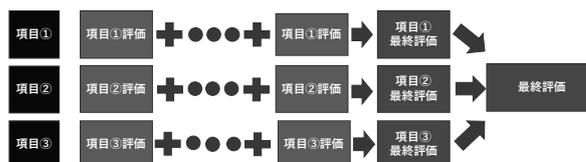
## 課題5 各評価→最終評価

- 現状



## 課題5 各評価→最終評価

- 改善案1 (毎授業ルーブリック①)



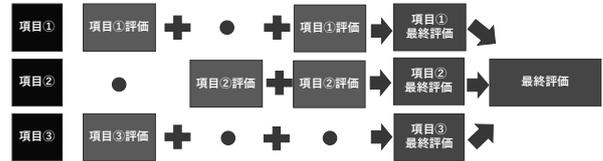
## 課題5 各評価→最終評価

- 改善案2 (毎授業ルーブリック②)



## 課題5 各評価→最終評価

- 改善案3 (飛び飛び授業ルーブリック)



## 今後の課題

- 毎授業におけるルーブリック評価
- 指導と評価の一体化
- 授業アンケートの活用
- 学生のルーブリック理解
- 「知識の伝達・注入」の授業の比重
- 授業意欲の向上
- 授業態度 携帯 居眠り
- 「おもしろくて、ためになって、しかも学問的背景のある授業」の実施
- 一人一人を大切にす授業

科目名：子ども家庭支援論

到達目標	F	C	B	A	S	比率
子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解でき、目的を達成することができる。	子育て家庭に対する支援の意義・目的についてまとめることができない。	子育て家庭に対する支援の意義・目的についてまとめる。	子育て家庭に対する支援の意義・目的についておおむね理解してまとめる。	子育て家庭に対する支援の意義・目的について十分に理解してまとめる。	子育て家庭に対する支援の意義・目的について自分の考えを入れて、十分に理解してまとめる。	30%
保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について理解できる。	保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本についてまとめることができない。	保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本についてまとめる。	保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本についておおむね理解してまとめる。	保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について十分に理解してまとめる。	保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について自分の考えを入れて、十分に理解してまとめる。	30%
子育て家庭に対する支援の体制、子ども家庭支援の現状と課題について理解できる。	子育て家庭に対する支援の体制、子ども家庭支援の現状と課題についてまとめることができない。	子育て家庭に対する支援の体制、子ども家庭支援の現状と課題についてまとめる。	子育て家庭に対する支援の体制、子ども家庭支援の現状と課題についておおむね理解してまとめる。	子育て家庭に対する支援の体制、子ども家庭支援の現状と課題について十分に理解してまとめる。	子育て家庭に対する支援の体制、子ども家庭支援の現状と課題について自分の考えを入れて、十分に理解してまとめる。	40%



### 自己評価 自分はどこまで到達したと思いますか

科目名：レクリエーション理論

お名前( )

評価目標	1 2 3 4			
	低い			極めて高い
1. 対人支援の場におけるレクリエーションの意義や活用法について理解できる。	レクリエーションの意義や活用法について理解できない。	レクリエーションの意義や活用法について前編であれば理解できる。	レクリエーションの意義や活用法について各単元に3割で理解できる。	レクリエーションの意義や活用法について自ら探求して理解できる。
2. レクリエーション・インストラクターの役割について説明できる。	レクリエーション・インストラクターの役割を理解していない。	レクリエーションの歴史・意義などを習得し、レクリエーション・インストラクターの役割を理解している。	レクリエーションの歴史・意義などを習得し、レクリエーション・インストラクターの役割を理解しながら、簡単なレクリエーション計画の作成ができる。	レクリエーションの歴史・意義などを習得し、レクリエーション・インストラクターの役割を説明しながら、詳細なレクリエーション計画の作成ができる。
3. レクリエーション・インストラクターとしての具体的な支援技術を習得することができる。	対象・目的に合わせたレクリエーション計画の作成、レクリエーションプログラムの作成方法が身につけられない。	対象・目的に合わせたレクリエーション計画の作成、レクリエーションプログラムの作成方法が参考図書をもとに作成できる。	対象・目的に合わせたレクリエーション計画の作成、レクリエーションプログラムの作成方法を身につけている。	対象・目的に合わせたレクリエーション計画の作成、レクリエーションプログラムの作成方法を身につけ、実際に実施することができる。

### 教師の客観的評価と学生の主観的評価

授業終了後、ルブリック評価表から点数を消したものを学生に提示し、どの目標まで達成したかを尋ねた。回答数が少なく現時点では評価できない。

少ない回答数ではあるが、概ね4～5までは到達したと回答している。

教師から見て、公認指導者資格取得者と見取得者の到達度に差はないと判断している

ルブリック表に、レクリエーション・インストラクターとしての項目を2つ設定したが、授業展開では、「保育者」として知識や支援技術を身につけようと繰り返し書いてきたので、資格見取得者もあまり違和感なく授業参加ができたからだと推測する。

### 最後に

資格取得に関与する科目を担当し、当初想像していた学生とは異なった学生が履修した。

受講学生の履修目的が明らかになったところで、本来、修正をすべきだったと思うが、資格取得のためには譲れないところもあり、授業内容で資格取得希望者とそうではない学生に対応したが、「保育者」というキーワードで乗り切ることができた。

今後、資格取得に関与する科目を担当する際は、受講者を予測イメージし、ルブリック評価表を作成したい。



# 2021年度ルーブリック活用について報告

## 『子どもと人間関係』の授業より

2022.3.2発表  
 埼玉純真短期大学  
 布施 由起

### シラバス38ページ

幼稚園教諭の免許では必修！

●子どもと人間関係で学ぶこと(授業の到達目標及びテーマ)

- 1 乳幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴とその社会的背景について説明できる。
- 2 乳幼児期における人と関わる力の発達について、家族、保育者、子ども同士、地域との関係という観点から説明できる。
- 3 乳幼児の自立心、協同性、道徳性・規範意識などの育ちについて、人間関係の発達と関連させて説明できる

到達目標	1 (C)	2 (B)	3(A)	4(S)	評価
1. 乳幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴とその社会的背景について説明できる	乳幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴とその社会的背景について理解が深く、説明が困難である	乳幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴とその社会的背景について理解でき、部分的に説明できる	乳幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴とその社会的背景について理解し、説明できる	乳幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴とその社会的背景について理解し、積極的に説明できる	20%
2. 乳幼児期における人と関わる力の発達について、家族、保育者、子ども同士、地域との関係という観点から説明できる	乳幼児期における人と関わる力の発達について理解が浅く、説明が困難である	乳幼児期における人と関わる力の発達について、概要を説明できる	乳幼児期における人と関わる力の発達について、家族、保育者、子ども同士、地域との関係という観点を部分的に用いて説明できる	乳幼児期における人と関わる力の発達について、家族、保育者、子ども同士、地域との関係という観点から積極的に説明できる	20%
3. 乳幼児の自立心、協同性、道徳性・規範意識などの育ちについて、人間関係の発達と関連させて説明できる	乳幼児の自立心、協同性、道徳性・規範意識などの育ちについて理解が浅く、説明が困難である	乳幼児の自立心、協同性、道徳性・規範意識などの育ちについて、概要を説明できる	乳幼児の自立心、協同性、道徳性・規範意識などの育ちについて、人間関係の発達と部分的に関連させて説明できる	乳幼児の自立心、協同性、道徳性・規範意識などの育ちについて、人間関係の発達と関連させて積極的に説明できる	30%
4. 到達目標を意識して、積極的に授業に取り組むことができる	予習・復習を行わず、指示された内容を取り組むことができる	復習を行っているが、授業中に指示された内容のみをノートにまとめている	予習・復習を行い、授業中に指示された内容以外においても、重要事項を若干ノートにまとめることができる	予習・復習を行い、授業中に指示された内容以外においても、重要事項をノートにまとめることができる	30%

### シラバス38ページ

幼稚園教諭の免許では必修！

第2回授業配布資料より

●子どもと人間関係で学ぶこと(授業の到達目標及びテーマ)

- 2 乳幼児期における人と関わる力の発達について、家族、保育者、子ども同士、地域との関係という観点から説明できる。

どこの項目の学びを、今授業で行っているのか、  
 学生に理解をうながす

科目名：子どもと人間関係 担当教員：布施由起

到達目標	1 (C)	2 (B)	3(A)	4(S)	評価
1. 乳幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴とその社会的背景について説明できる (評価方法) 定期試験 定期試験及び小レポート	乳幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴とその社会的背景について理解が深く、説明が困難である	乳幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴とその社会的背景について理解でき、部分的に説明できる	乳幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴とその社会的背景について理解し、説明できる	乳幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴とその社会的背景について理解し、積極的に説明できる	20%
2. 乳幼児期における人と関わる力の発達について、家族、保育者、子ども同士、地域との関係という観点から説明できる (評価方法) 定期試験及び小レポート	乳幼児期における人と関わる力の発達について理解が浅く、説明が困難である	乳幼児期における人と関わる力の発達について、概要を説明できる	乳幼児期における人と関わる力の発達について、家族、保育者、子ども同士、地域との関係という観点を部分的に用いて説明できる	乳幼児期における人と関わる力の発達について、家族、保育者、子ども同士、地域との関係という観点から積極的に説明できる	20%
3. 乳幼児の自立心、協同性、道徳性・規範意識などの育ちについて、人間関係の発達と関連させて説明できる (評価方法) 定期試験及び小レポート	乳幼児の自立心、協同性、道徳性・規範意識などの育ちについて理解が浅く、説明が困難である	乳幼児の自立心、協同性、道徳性・規範意識などの育ちについて、概要を説明できる	乳幼児の自立心、協同性、道徳性・規範意識などの育ちについて、人間関係の発達と部分的に関連させて説明できる	乳幼児の自立心、協同性、道徳性・規範意識などの育ちについて、人間関係の発達と関連させて積極的に説明できる	30%
4. 到達目標を意識して、積極的に授業に取り組むことができる (評価方法) 授業参観度・ノート提出	予習・復習を行わず、指示された内容を取り組むことができる	復習を行っているが、授業中に指示された内容のみをノートにまとめている	予習・復習を行い、授業中に指示された内容以外においても、重要事項を若干ノートにまとめることができる	予習・復習を行い、授業中に指示された内容以外においても、重要事項をノートにまとめることができる	30%

### 評価① 課題：ミニレポート

課題の学び

社会科 歴史

社会科 地理

社会科 公民

社会科 外国語

社会科 英語

社会科 総合

社会科 道徳

社会科 体育

社会科 音楽

社会科 美術

社会科 保健体育

社会科 職業

社会科 情報

社会科 総合

社会科 道徳

社会科 体育

社会科 音楽

社会科 美術

社会科 保健体育

社会科 職業

社会科 情報

\* 授業の項目ごとに考えたこと(考察)等を記入する

\* 3行以上記入

\* 事前に配点を学生に伝える

\* S(3点)~C(1点)未提出者0点、公欠の者は3点

### 課題：今回の授業の中で考えたこと

(簡単に自分なりに→A4用紙4分の1位)

課題用紙

学籍番号 名前 課題を行った日

事例

4行~5行程度

5行以上

- 課題用紙に考察
- 5行以上

科目名：子どもと人間関係 担当教員：布施由起					
到達目標	1 (C)	2 (B)	3(A)	4(S)	評価
1. 乳幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴とその社会的背景について説明できる (評価方法) 定期試験 定期試験及び小レポート	乳幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴とその社会的背景について理解が深く、説明が困難である	乳幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴とその社会的背景について理解しており、部分的に説明できる	乳幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴とその社会的背景について理解し、説明できる	乳幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴とその社会的背景について理解し、概観的に説明できる	20%
2. 乳幼児における人と関わる力の発達について、家族、保育者、子ども同士、地域との関係という観点から説明できる (評価方法) 定期試験及び小レポート	乳幼児における人と関わる力の発達について理解が深く、説明が困難である	乳幼児における人と関わる力の発達について、概要を説明できる	乳幼児における人と関わる力の発達について、家族、保育者、子ども同士、地域との関係という観点を部分的に用いて説明できる	乳幼児における人と関わる力の発達について、家族、保育者、子ども同士、地域との関係という観点から概観的に説明できる	20%
3. 乳幼児の自立心、協同性、道徳性・規範意識などの育ちについて、人間関係の発達と関連させて説明できる (評価方法) 定期試験及び小レポート	乳幼児の自立心、協同性、道徳性・規範意識などの育ちについて理解が深く、説明が困難である	乳幼児の自立心、協同性、道徳性・規範意識などの育ちについて、概要を説明できる	乳幼児の自立心、協同性、道徳性・規範意識などの育ちについて、人間関係の発達と部分的に関連させて説明できる	乳幼児の自立心、協同性、道徳性・規範意識などの育ちについて、人間関係の発達と関連させて概観的に説明できる	30%
4. 到達目標を意識して、積極的に授業に取り組むことができる (評価方法) 授業参観度・ノート提出	習・復習を行わず、指示された内容をノートにまとめているが、記録漏れが散見される	復習を行っているが、授業中に指示された内容のみをノートにまとめている	予習・復習を行い、授業中に指示された内容以外においても、重要事項をノートにまとめることができる	予習・復習を行い、授業中に指示された内容以外においても、重要事項をノートにまとめることができる	30%

## 評価② 授業の参観度の評価

### 授業配布資料の当日の提出



\* 初回授業で、当日資料を提出を不定期に求めることがあることを伝える

**チェックポイント**

- ①穴埋めの記入があるか
- ②授業中に書いておくように伝えられた事が書いてあるか
- ③授業中に自主的に記録をとったものがあるか

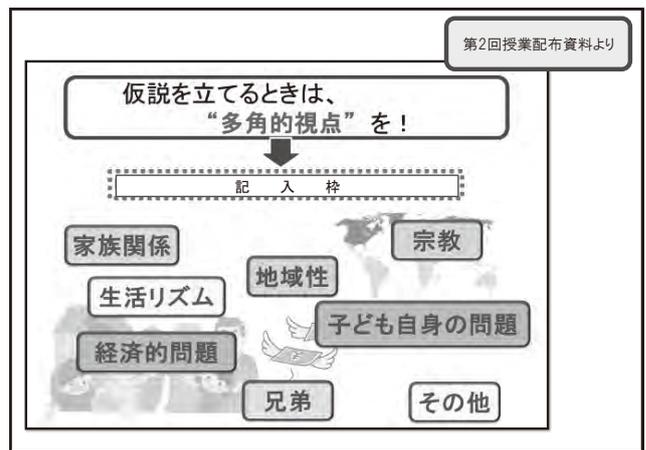
S(3点)～C記入漏れが多い(1点)  
未提出者0点  
公欠の者は3点

## 評価③ 定期試験

**\* 初回授業での周知内容**

- ①定期試験は授業の配布プリントから出題する
- ②出題する内容は、「ここを書いておくように」と伝えられた場所から出題することが多い
- ③「書いておくように」と伝えられた場所以外でも、何度も繰り返し重要であると伝えられた部分からも出題する
- ④そのため、授業内容をしっかりと聞き、配布資料に書き込んでおくことが重要である

**チェックポイント**  
自主的に記入していたと思われる項目については配点を高くし、「書いておくように」と伝えられた部分のみ書かれている場合には平均配点として計算



## 評価③ 定期試験配点例

どの程度、理解し説明ができるか

例) 人間関係をみていく際には、多角的視点が必要となる。多角的視点とは具体的にどのようなことが答えなさい。

いろいろな角度から目の前にいる人を見る  
10点中5点の配点(記入するよう伝えられた事のみ)

目の前の人を、家族関係や、地域性や宗教、子どもや家族の生活リズム、その人自身の問題など、いろいろな角度から目の前にいる人を見る  
10点中10点の配点(理解した上での回答と判断)

## 授業「子どもと人間関係」ルーブリック評価のふりかえり

今後の課題:

- \* 今年度定期試験はWEB試験となったため、配布資料を見ないで回答していた学生がいた。
- \* ミニレポートや定期試験の評価得点について、明確な境目の難しさがあつた。点数化の平等性。
- \* 授業の後半(定期試験近い回)の時には、多くの学生が評価方法について覚えていなかった。
- \* 評価方法は口頭で伝えただけであつたため、次回からは配布資料に明記する
- \* 学生自身の到達目標の評価の必要性

# 参考資料

科目名：子どもと人間関係 担当教員：布施由起

到達目標	1 (C)	2 (B)	3(A)	4(S)	評価
<p>1. 乳幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴とその社会的背景について説明できる</p> <p>(評価方法) 定期試験 定期試験及び小レポート</p>	<p>乳幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴とその社会的背景について理解が浅く、説明が困難である</p>	<p>乳幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴とその社会的背景について理解しており、部分的に説明できる</p>	<p>乳幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴とその社会的背景について理解し、説明できる</p>	<p>乳幼児を取り巻く人間関係の現代的特徴とその社会的背景について理解し、模範的に説明できる</p>	20%
<p>2. 乳幼児期における人と関わる力の発達について、家族、保育者、子ども同士、地域との関係という観点から説明できる</p> <p>(評価方法) 定期試験及び小レポート</p>	<p>乳幼児期における人と関わる力の発達について理解が浅く、説明が困難である</p>	<p>乳幼児期における人と関わる力の発達について、概要を説明できる</p>	<p>乳幼児期における人と関わる力の発達について、家族、保育者、子ども同士、地域との関係という観点を部分的に用いて説明できる</p>	<p>乳幼児期における人と関わる力の発達について、家族、保育者、子ども同士、地域との関係という観点から模範的に説明できる</p>	20%
<p>3. 乳幼児の自立心、協同性、道徳性・規範意識などの育ちについて、人間関係の発達と関連させて説明できる</p> <p>(評価方法) 定期試験及び小レポート</p>	<p>乳幼児の自立心、協同性、道徳性・規範意識などの育ちについて理解が浅く、説明が困難である</p>	<p>乳幼児の自立心、協同性、道徳性・規範意識などの育ちについて、概要を説明できる</p>	<p>乳幼児の自立心、協同性、道徳性・規範意識などの育ちについて、人間関係の発達と部分的に関連させて説明できる</p>	<p>乳幼児の自立心、協同性、道徳性・規範意識などの育ちについて、人間関係の発達と関連させて模範的に説明できる</p>	30%
<p>4. 到達目標を意識して、積極的に授業に取り組むことができる</p> <p>(評価方法) 授業参画度・ノート提出</p>	<p>予習・復習を行わず、指示された内容をノートにまとめられているが、記録漏れが見される</p>	<p>復習を行っているが、授業中に指示された内容のみをノートにまとめている</p>	<p>予習・復習を行い、授業中に指示された内容以外において、重要事項を若干ノートにまとめることができる</p>	<p>予習・復習を行い、授業中に指示された内容以外において、重要事項をノートにまとめることができる</p>	30%

## ルーブリックを試用して ～学生からの学び～

科目「日本語表現Ⅱ」  
ルーブリック&「振り返り」シートより

細田 香織

## 「日本語表現Ⅱ」ルーブリックの柱

- 簡素(シンプル)
- 見やすい(ビジュアル)
- 続けやすい

## 「振り返り」にルーブリック評価をプラスする (自己評価の視点)

その日の授業の学びを言語化する「振り返り」(従前)



「振り返り」とルーブリック表の融合シート (向後)

- ・自己評価と授業の振り返りが連動
- ・具体的な学びや自己評価の言語化の萌芽

## ルーブリック表と授業内容の連動

- 自己評価しやすいように
- その日の学習内容と到達度が見やすいように
- 「振り返り」に活用できるように

## ルーブリック評価&振り返りシートから

受講生の「振り返り」記述より  
～学生からの学び～

## ①ルーブリックを提示したことへの感謝

\* これまで先生がどういう基準で評価をつけているのか分からず、なぜ自分がこの評価なのか疑問に思っていたため、基準を出してくれるのは、とてもありがたいなと思いました。(記述より一部抽出)

## ②点数に捉われない、自己の学習に対する肯定的な《楽しい》という「想い」

\* 意見や気づきをやるのは、私はとても楽しいです。もっとできるようもっともっと、深く分かるようにがんばりたいです。(記述より一部抽出)

## ③ 自己評価で自らを肯定的に捉えることができ、それを嬉しく感じる「想い」

\* ~4でもよいなと思いました。自己評価ですが、4をつけられて嬉しかったです。(記述より一部抽出)

## ④ 苦手分野について自己評価が低く、自信をなくしたが、学びを諦めない「想い」

\* 人よりたくさん勉強しないとできなくて、~漢字には十分気を付けているのですが、覚えた漢字が間違っている時が多く、自信をなくしました。でも、諦めずに自分で取り組んでいきたいと思います。(記述より一部抽出)

## 学生の「振り返り」からの気づき

- ①より... 評価基準を提示することを肯定的に受け止めた学生がいる。(数名が記述)
- ②より... 点数と共に「振り返り」コメントを書くことで、点数に捉われない観点での自己評価や振り返りも行い、文章で表現することができている。

## 学生の「振り返り」からの気づき

- ③より... 自己評価は、メタ認知により、自らを認め肯定する機会になり得る。
- ④より... 「振り返り」コメントは自己評価により自信を失ったことを伝える手段ともなる。  
→フィードバック及びフォローが重要

## ルーブリック試用からの学び (まとめ)

- ・「競争」ではない「個人の伸び」をメタ認知する機会
- ・「振り返りシート」との融合により、点数ではない個人の「想い」を含んだ自己評価及び振り返りが可能に
- ・自信を失っている学生には、フィードバックやフォローを。→ポートフォリオとの融合形の可能性

# ルーブリック

埼玉純真短期大学  
2021年度FD研修  
2022、2、9(火)

## 発表内容

保育内容総論 (2021年度後期)  
対象 1年生全員

- 1、ルーブリック作成にあたって
- 2、実際に実践して
- 3、結果・考察と課題

持田京子

## 発表内容

### 保育内容総論

#### 1、ルーブリック作成にあたって

#### 1、ルーブリック作成にあたって心がけた3項目

- (1) 厚生労働省・文部科学省の示す「保育内容総論」  
教授内容の理解 (シラバス)
- (2) 学生が「履修目標」「到達目標」  
が分かる主体的な学び参加と自己評価  
学生と担当教科の目的の共有
- (3) 本学のディプロマポリシー カリキュラム  
ポリシー アドミッションポリシー の理解と実践

本学のカリキュラム

#### ルーブリック作成にあたって1

##### (1) 教授内容の理解 保育内容総論

保育士必修科目(1単位) 演習(学校により2単位)  
厚生労働省の示す教授内容

1. 保育の全体構造と保育内容
  - (1) 保育所保育指針に基づく保育の全体構造と保育内容の理解
  - (2) 保育の内容の歴史の変遷とその社会的背景
  - (3) 子どもの発達や生活に即した保育の内容の基本的な考え方
2. 保育の基本を踏まえた保育内容の展開
 

<保育の基本的な考え方>

  - ・ 養護及び教育が一体的に展開する保育
  - ・ 子どもの主体性を尊重する保育
  - ・ 環境を通して行う保育
  - ・ 生活や遊びによる総合的な保育
  - ・ 個と集団の発達を踏まえた保育
3. 保育の多様な展開

引用・厚生労働省・ホームページ  
引用・埼玉純真短期大学 ホームページ

#### ルーブリック作成にあたって2

- (2) 「履修目標」「到達目標」が分かる主体的な学修  
(参考資料1 厚労省の指針を基に作成)
- (1) 何を学習し、何に到達すればよいのか、具体的に自分なりに到達点がわかる (1-3段階)
- (2) 学びを「根拠」にどう考えるのか、さらに何をどう調べるのか、今後の活用や取り組みを考えられる (4-5段階)

ルーブリック作成にあたって3  
**(3) 3つのポリシーの理解**

(1) ◎ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与の方針) 「気品」「知性」「奉仕」の学園訓(建学の精神)に基づき、その具現化を意図して、保育者として自覚と責任を持った行動ができる学生育成

◎カリキュラムポリシー 学園訓に則った、教育課程の編成と授業展開実施の方針

◎アドミッションポリシー 「気品」「知性」「奉仕」の精神を理解し、「健康にして、良識ある人格高き社会の指導的人物を養成し、地域の発展に寄与する」

(2) ★ルーブリックで示す内容の理解と指導する過程

①筆者は指導にあたって「気品⇒感じ方」「知性⇒考え方」「奉仕⇒実践にあたって」と考え、その柱を意識しようと考えた。

②広い社会に目を向け、地域と連携、貢献できるように意識した。

**発表内容**

保育内容総論

2、実際に実践して

ルーブリックから見た  
学生の自己評価

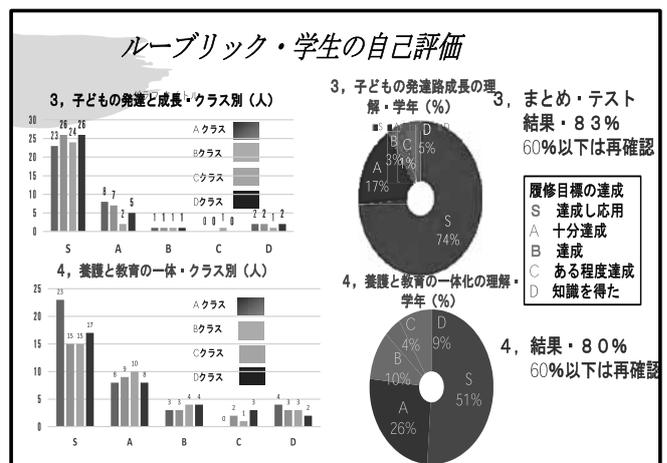
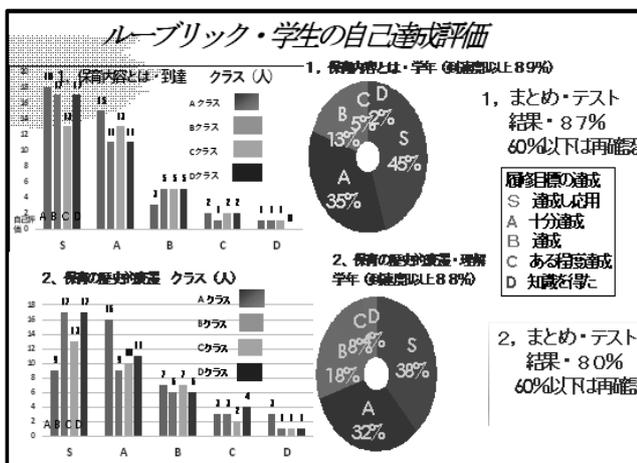
保育内容総論

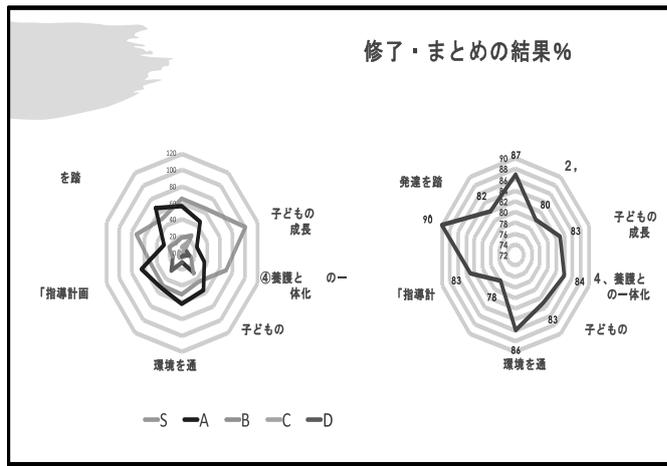
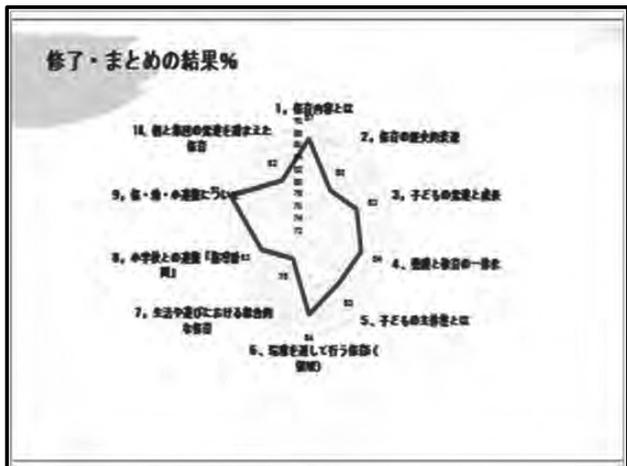
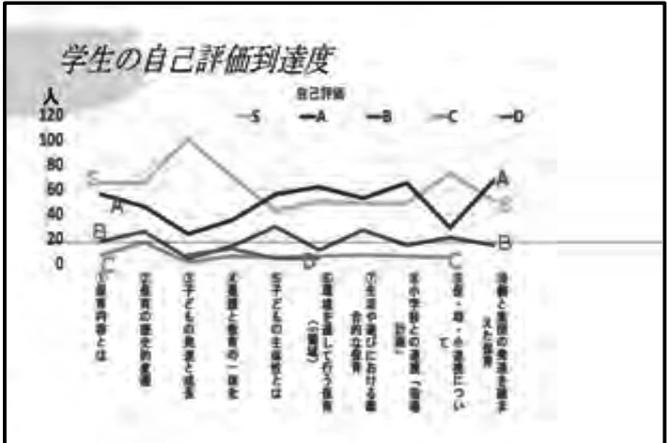
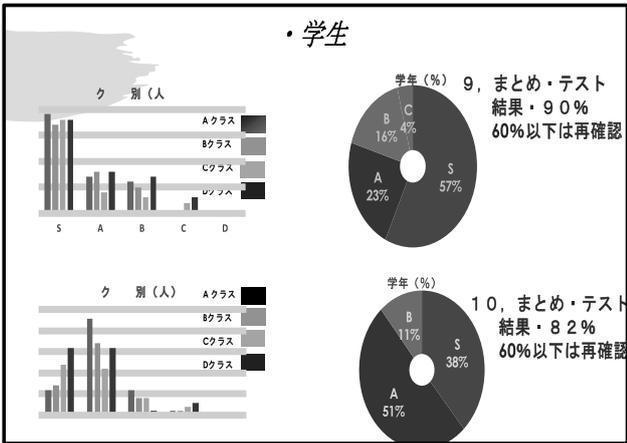
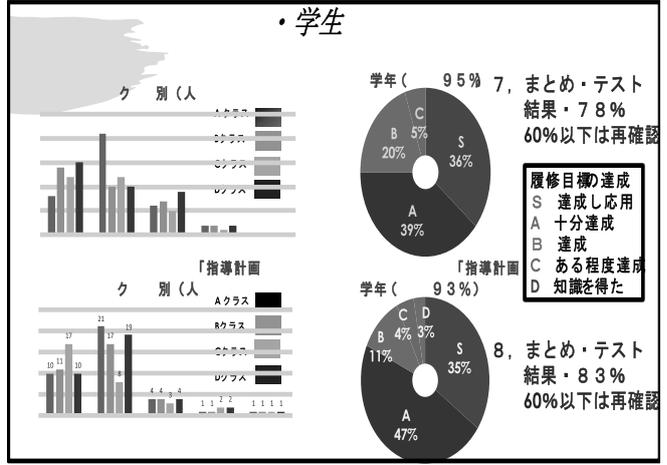
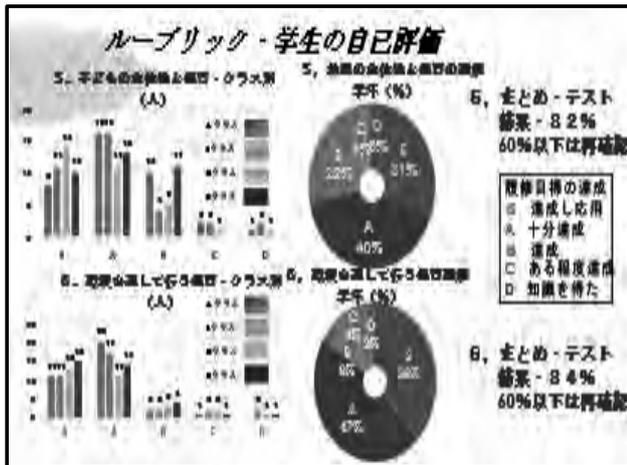
ルーブリックで示された内容(参考資料1)

1. 保育内容とは
2. 保育の歴史の変遷
3. 子どもの発達と成長
4. 養護と教育の一体化
5. 子どもの主体性とは
6. 環境を通して行う保育
7. 生活や遊びにおける総合的な保育
8. 小学校との連携「指導計画」
9. 保・幼・小連携について
10. 個と集団の発達を踏まえた保育

学生の評価は12月に行ったので、10までになっています。

11. 様々な保育ニーズ 12-15 保育の実践計画 13,





## 発表内容

### 保育内容総論

#### 3. 結果・考察・今後の課題

#### 結果

(1) 今回は学生の自己評価と教員評価のまとめとの誤差があまりなかった。学生は自分をしっかりと見極めて自己評価をしていると考えられるが、さらなる検証が必要である。

(2) 「小学校との連携」では学生の自己評価が高かった。実際に身体を使って、他児童と実践することが、学びの効果を高めることが見えた。

(3) ルーブリック評価を行うことで、振り返りだけでなく、一方ではない、一つのことから多くのつながりを考えるきっかけになるなど、学生の言葉があった。

(4) 学ぶ意欲が低い学生、コロナ禍で授業参加できない学生などもあり、それらの個別的指導の大切さも見えた。

#### 考察(1)

##### 何を感じ、何を考え、何を調べ、現場実践するか

学びの過程を通して、学生の理解が深まる【保育現場も同様である】学生は、学修＝覚えるとの、考え方が身についている口考えられ、ルーブリックを通し、そこでそう学ぶか、その学びの過程の大切さを伝える必要性がみえた。

そのためには「知識伝達型」の学修だけではなく、見えない学修の視覚化が大切であると考え。これらの「ディスカッション」「発表」などの学び合いのパフォーマンス・ルーブリックの有効性を関西大学教育推進部教区開発センターが述べて推奨している。

#### 考察(2)

##### 何を感じ、何を考え、何を調べ、現場実践するか

○今後「ルーブリックを学生と共に作成して、その学修効果を、様々な視点から学生が自主的に確認する必要があることが分かった。

○ポートフォリオ評価も、目に見える振り返りができるため、取り入れることで、幼児教育現場にもつながるだろう。教員はこれらの効果を確認しながら、よりよい授業を学生と共に創ることが求められる。

#### 考察(2)

##### 何を感じ、何を考え、何を調べ、現場実践するか

○評価も大切だが、その背後には「授業への期待感」「ワクワク感」「保育者への夢」がある。それらは「やる気」ウや自分の保育親につながる。

○出来る、できないではなく、その気持ちを学びの過程で、教師が大切にしながら、カリキュラムポリシーを自分のものとして、常に自らを磨き、研究しながら教授していくことの必要性が見え、今後についていきたい。

#### 引用・参考文献

- (1) 「ルーブリックの使い方ガイド」関西大学教育支援開発センター教員用・学生用 2019年4月・レポートルーブリックの記述・自分のパフォーマンスを評価する方法
- (2) 教員向けルーブリック作成マニュアル 横浜国立大学
- (3) 天笠茂（千葉大学）「カリキュラム・マネジメントとは」独立行政法人教職員支援機構
- (4) 高井 一雄 1・岡崎 浩幸「ルーブリックを活用した授業実践とパフォーマンス評価」学習者の自信形成と教師の協働を目指し-富山大学人間発達科学部紀要第14巻第1号：63-71(2019)
- (5) 文部科学省「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」、「課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）及び「入学者受入れの方針」（アドミッション・ポリシー）の策定及び運用に関するガイドライン
- (6) 佐藤史子・森朋子「ポートフォリオ評価の現状」東京家政学院大学総覧44号 2004年 人文・社会科学系 抜刷（2004年8月発行）
- (7) ポートフォリオ評価を活用した指導の改善、自己学習力の向上及び外部への説明責任を担った評価の工夫（国立教育政策研究所）

## ディプロマ・ポリシー

本学は「気品・知性・奉仕」の学園訓（建学の精神）に基づき、「健康にして良識ある人格高き社会の指導的人物を養成すること」を使命としています。この学園訓の具現化を意図して教育課程を編成しています。

この教育課程における単位認定基準（知識・技術・態度等の達成度）によって認定された単位が卒業要件を満たし、かつ、社会人、職業人として自覚と責任を持った行動ができると判断した学生に学位を授与します。

- ① 学園訓（建学の精神）に基づき、信頼される保育者としての専門的知識と技術を習得し、子どもの教育や保育に貢献できる能力と社会人・職業人としての責務を果たすことができる。
- ② 子どもを取り巻く環境や成長と発達についての深い理解と知識を修得し、強い使命感と深い教育的愛情、豊かな教養とピュアな精神で多面的に諸問題を解決できる信頼される保育者となることができる。
- ③ 社会の事象に常に関心を抱き、的確に捉え、地域における課題を発見し、自らの問題として捉え、修得した知識や技術でこれらを解決することなどを通して地域社会に貢献することができる。

発行日 令和3年 12月 20日 発行  
編集 埼玉純真短期大学FD&SD推進委員会  
印刷 SP 関根印刷  
発行 学校法人純真学園 埼玉純真短期大学  
〒348-0045  
埼玉県羽生市下岩瀬 430 番地  
TEL : 048-562-0711 (代表)  
FAX : 048-562-0715

